

会長のページ	2040年問題	河野 雅行	3
日州医談	スーツケース感染症（蚊媒介輸入感染症） にどう備えるか	峰松 俊夫	4
随 筆	高校野球大好きドクター	山田 琢也	6
	愛犬は飼い主の夢を見るか？（Requiem編） - Adieu! Changii (Part 2)	北村 和生	8
	郵便受けからのメッセージ	谷口 二郎	10
	猪八重溪谷	石橋 俊秀	12
旅 行 記	日本縦断ドライブ その1	高崎 眞弓	14
エコー・リレー（602）		石合 理崇, 崎濱 國治	21
メディアの目	地域ぐるみで支える	加藤 学	22
身近なお困りごと相談室		高山 桂	23
宮崎大学医学部だより	発達泌尿生殖医学講座 -産婦人科学分野-	桂木 真司	30
専門分科医会だより	小児科医会	高木 純一	31
ニューメンバー		西本紘嗣郎	45
診療メモ	アルドステロン産生病変の可視化	西本紘嗣郎	70
宮大医学部学生のページ	学生生活のご紹介	竹森さくら	72

表彰・祝賀	16
あなたできますか？（令和6年度医師国家試験問題より）	20
宮崎県感染症発生動向	24
日赤だより	27
各郡市医師会だより	28
九州医師会連合会第424回常任委員会	32
第129回九州医師会連合会定例委員総会	34
第26回宮崎県医師会医家芸術展	36
日医インターネットニュースから	38
医師協同組合だより	40
会員の異動・変更報告	42
ベストセラー	45
理事会日誌	46
県医の動き	50
ドクターバンク情報	51
行 事 予 定	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あ と が き	80

お知らせ	「新春随想」原稿募集	19
	地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	35
	日医ペイハラ・ネット相談窓口を開設しました	37
	日本医師会作成 院内掲示用ポスターについて	41
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	44
	令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生採用のお願い	49
	日州医事へのご意見・ご感想	55
	郡市医師会への送付文書	74
	医療勤務環境改善支援センター	78
	日州医事原稿募集のお知らせ	79

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

かわいいミ～ちゃん

ミ～ちゃんはマイペース。いつも庭で遊んでトカゲを狩っているよう。食事のマナー、おすわり、お手をして、カンガルーのように立ちます。それから食事。クールなひとみ やさしい女の子なんです、今日のスタイルははずかしいニャー。

都城市 さか酒 い井 けい桂 こ子(会員家族)

会長のページ

2040年問題

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

団塊の世代が高齢者となる2025年問題に続いて超高齢社会となる2040年問題が大きく取り上げられています。地域医療では一難去ってまた一難です。少子高齢化問題を始めとして多くの問題がありますが、労働力人口の減少も深刻です。支える人支えられる人のアンバランスを最大の理由として今後も頻繁に20…問題というふうに取り上げられることになるでしょう。これは医療に限らずあらゆる分野が抱える問題です。労働力人口のみならず総人口の減少も進むと予測されており、将来的には人口が半減するともいわれています。日本人が一人もいなくなるのブラックジョークもあります。ひいては我が国のありかたそのもの

にまで発展する可能性があり、社会保障費の増加やインフラの老朽化など多くの問題も生じます。

中でも人口問題については多くの識者から提言があり、国も対策を講じていますが、今一度強力に取り組む必要があります。「国家百年の大計」の長期ビジョンは無理でもせめて20年、30年後の我が国の明るい将来像を示していただきたい。国のありかたは為政の結果であり、歴史が語っているように、いかなる失政によるまづい結果でも、責任を取らされるのは常に我々国民です。我々も指導者の選択を誤らないようにしたいものです。

地域医療も人口動態の影響を受けてすでに大きな問題になっています。医療従事者がいない、看護師、看護助手、事務員、厨房員などすべての確保に難渋しています。少ない人員を各業種が競って獲得に乗り出していますので、待遇改善を図ろうにも現診療報酬では好景気他業種に太刀打ちできません。持続可能な地域医療体制を維持するために連携・集約化等々の手段を講じる必要がありますが、その前に個々の医療機関の維持が難しい状態です。

人間は誰でも歳を取ります。移民を除けば出生数を上回る人口増加はあり得ません。まずは出生数を増やすことが第一です。しかし、現世の厳しい情勢から出産を躊躇する若者がいても不思議ではありません。若者を含めた皆が住みやすい、子どもを育てやすい社会を作ることが先決です。全国知事会では人口問題に取り組む「庁」レベルの司令塔設置を国に申し入れたようです。早急に取り組むべきです。

〇〇問題として危機感を煽るのはともかく、時には国民の意識を喚起するのは必要かもしれません。国が危機として捉えているのであれば、それに見合った予算も含めて思い切った措置をしなければなりません。掛け声のみでは実効性は上がりません。

現代は思想も自由で多様性に富んでいても、あるべき社会に対する一貫した方針のないのが問題です。よい社会や国の在り方までも、子ども時代からの教育として取り入れることが必要なのかもしれませんが。

(令和7年9月18日)

日州医談

スーツケース感染症（蚊媒介輸入感染症）
にどう備えるか宮崎県医師会 理事 ^{みね}峰 ^{まつ}松 ^{とし}俊 ^お夫

1. 増える輸入感染症

夏の終わり、知人から「発熱と関節痛がある」と相談されました。新型コロナウイルスの抗原検査は陰性でしたが、話を詳しく聞くと「海外旅行から帰ったばかりで…」とのこと。行き先を「中国か東南アジア方面ですか？」と尋ねると、「分かるのですか？」と驚かれました。

こうしたやりとりは、いまや特別なものではなく、日常的に起こりうる診療の風景となっています。まるで旅行用カバン（スーツケース/キャリーケース）に紛れて海外からやって来たかのように、病原体が国内に持ち込まれることがあります。このような病原体を比喩的に「スーツケース病原体」と呼び、欧州の保健当局やメディアでは定着した表現となっています。

2. 蚊媒介感染症の輸入と地域内発生

デング熱、チクングニア熱、ジカ熱、ウエストナイル熱などの蚊媒介ウイルス感染症は、熱帯・亜熱帯地域で流行しており、旅行者がウイルスを有する蚊に刺されることで感染します。こうした感染症は、帰国後に発症する例も少なくありません。加えて、欧州疾病予防管理センターは、これらの感染症が単なる「輸入例」とどまらず、「自生感染」、すなわち、地域内で病原体の感染環が形成され、在来の蚊によって新たな感染者が発生する事例もあると警鐘を鳴らしています。さらに、蚊そのものが航空機や貨物に紛れて移動し、空港や港湾周辺でマ

ラリア感染を引き起こした「空港マラリア」や「荷物マラリア」の事例もあります。実際、2020年にはベルギーで渡航歴のない2名がマラリアで死亡するという事例が報告され、国際的に注目を集めました。

3. ウイルス以外の“スーツケース病原体”

「スーツケース病原体」という表現はウイルスに限らず、さまざまな病原体を連想させます。

例えば、マラリアは*Plasmodium*属の原虫による感染症であり、特に*P. falciparum*による熱帯熱マラリアは重症化しやすいため、早期の診断と治療が予後を大きく左右します。

リンパ系フィラリア症は、蚊が媒介する寄生虫症で、発熱や浮腫などの症状がある際は、夜間採血による診断が重要となります。

また細菌感染症では、野兔病（*Francisella tularensis*感染症）における蚊との関連が指摘されています。さらに、*Mycobacterium ulcerans*感染による慢性消耗性疾患（ブルース潰瘍）は、オーストラリア南東部で蚊と野生動物を介した環境由来感染の可能性が議論されています。

真菌については、現時点で蚊によるヒトへの媒介は確認されていません。しかし、昆虫病原性真菌（例：*Metarhizium*属）は媒介蚊の制御に利用されており、“媒介される病原体”ではなく、“媒介蚊を駆除する有益な真菌”として注目を集めています。

4. 診察室から始める輸入感染症対策

これらの輸入感染症の初期対応は、多くの場合、クリニックなどの一次医療現場から始まります。帰国後の発熱、関節痛、発疹といった症状に対しては、国内では稀な疾患も鑑別に含める必要があります。

問診において、渡航歴、帰国日、乗継地の有無、現地での生活状況、屋外での活動、虫に刺された記憶、蚊除け対策の有無などを詳しく確認することで、感染経路を想定しやすくなり、診断の精度が格段に向上します。

あわせて、空港・港湾周辺の媒介蚊の監視、自治体や検疫所との情報共有、感染症発生時の通報体制の整備といった公衆衛生インフラとの連携も極めて重要です。

このような体制を支えるうえで、県医師会や郡市医師会の実務的な中核を担っており、感染症に関する最新情報の伝達、行政機関や専門医とのネットワーク構築、現場での症例情報の集約と発信など、重要な橋渡しの役割を担います。各医療機関が所属医師会を通じて情報を循環させる仕組みが整えば、地域全体で感染の芽を拾い上げる基盤となりえます。

5. 旅の記憶を診る力

旅行後の体調不良を単なる疲労と見なすのではなく、潜在的な感染症の初発症状として捉える視点も不可欠です。医療者は前述のように、患者が語る旅の記憶、例えば滞在地、行動内容、発症時期、虫に刺された経験などを丁寧に引き出し、読み解く力が求められます。さらに、診療の枠を超えて、地域の感染症対策や保健活動と接続する意識も必要です。私たちは日々の診療の中で、ごく自然に、しかし確実に「旅の続きを診る」という役割を果たさねばなりません。そのさりげない問診が、地域社会全体を守る大きな一歩となるからです。

6. 国内拡大リスクへの備え

近年では気候変動や都市開発の影響により、媒介蚊の生息域が拡大・北上しています。日本でもヒトスジシマカが広く分布し、輸入感染症が“持ち込まれるだけ”ではなく、“国内で拡がるリスク”が現実のものとなりつつあります。

また、蚊媒介感染症はヒトーヒトへ直接感染することはなく、媒介動物の存在に依存するため、感染経路が直感的に理解しづらく、初期対応が遅れる可能性もあります。診療現場では「疑わなければ、検査も始まらない」ことを念頭に置き、幅広い鑑別を心がけることが求められます。

さらに、マラリア迅速診断キットや血液塗抹検査の設備を有する医療機関は限られており、検査センターや感染症専門医、微生物学・寄生虫学研究者らとの連携体制をあらかじめ確立しておくことも差し迫った課題です。

こうした臨床現場の気づきや診療情報を、医師会や保健所・行政と共有し、地域の防疫体制へと反映させていくために、現場と行政の接点として医師会が果たす役割は重要です。今後、旅行や国際交流がますます活発化する中で、こうした視点と行動が、地域の感染症・寄生虫症対策を支える基盤となるでしょう。

随 筆

高校野球大好きドクター

宮崎市 ^{やま}山 ^だ田 ^{たく}塚 ^や也

TV番組アメトーク!の“高校野球大好き芸人”みたいなタイトルをつけてみた。私はちゃんとやったスポーツと言えば、小学時の剣道，中高大でのテニス（それぞれ中1まで，高2夏まで軟式，大学は6年間硬式）で，野球は小学時の草野球，中学2，3年時は地区のソフトボール（秋に新人戦，夏には生徒大会，親子大会の2つの大会あり）経験のみ。詳述したのは，歴の詐称とならぬよう，卒業したは卒業，除籍されたは除籍と言わないと，最後の夏にアイツは居なかったという怪文書が届いても困るからだ。つまり私は野球に関しては素人だが，それゆえの視点で忌憚なき意見を言える面もある。

さて高校野球の魅力とは何か。筋書きのないドラマ。地元の盛り上がり，地域色豊かなスタンド，学校独自の応援，好機時に流れるチャンステーマ（チャンテ）。いつ，どこで，その試合をテレビ視聴したりラジオ聴取したか思い出され人生の振り返りにもなる。私は母が高校野球好きで観始めた。NHKやテレビ朝日系列で高校野球中継ができるアナウンサーになるのが夢の一つだった時期もある。私がはっきり記憶しているのは小学3年時1978（S53）年からだ。偶然だが，一県一代表制が定着した年だ。それから半世紀近く。

宮崎勢の優勝候補と言えば，田口，田中幸雄らの宮崎が生んだ久々の大型チーム 都城（1984），寺原ら3投手に，野手では井手，長畑らの日南学園（2001）だ。日南学園に関して言えば，坂元，平下を擁し初出場ながら非常に力があり影の優勝候補との声もあった1995のチーム，前年秋の神宮大会を制し春選

抜は“候補”で乗り込んだ春永，吉武らの1999春のチーム，有馬，中崎雄太の左2枚を揃えた2007のチーム，これらも魅力的で個人的には好きなチームだった。

旋風と言えば，加藤らの都城商（1981），笹山を擁した小林西（1993）。同校2度目の8強となった都城商（2009），全国準Vの延岡学園（2013）は本当に強かった。延学の千載一遇一打逆転サヨナラVの場面は，県勢悲願の全国制覇をみれるかと思うと観てるこちら側が緊張のあまり気分が悪くなった。

ここで宮崎ベストナイン（テン※来春から甲子園も指名打者制導入）を考えた。甲子園出場組かつ私がリアルタイムに知っているという条件だ。

（投）寺原 隼人（日南学園 2001）

（捕）矢野 秀人（都城 1984）

（一）山元 浩太（都城 1984）

（二）赤田 将吾（日南学園 1997春・1998夏
※2年春は三塁手）

（三）石川 賢一（都城 1982）

（遊）田中 幸雄（都城 1984 ※2年生）

（左）井手正太郎（日南学園 2001）

（中）平下 晃司（日南学園 1995）

（右）岩重 章仁（延岡学園 2013）

（指）瀬間仲 ノルベルト（日章学園 2002）

打順も考えた。1. 平下 2. 赤田 3. 井手 4. 田中 5. 瀬間仲 6. 岩重 7. 山元 8. 矢野 9. 石川 超重量打線だ。捕手は，与那城（都城 1979），宮里（都城 1982）あるいは畑中（日南学園 2007），萩原 哲（日南学園 2016），はたまた黒木純司（延岡学園 1991

※2年生)というご意見もあろうが、都城のあの代の四番打者ということで選出。木村拓也(宮崎南1988)は1年夏甲子園ベンチ入りも出番はなかった。一塁手は長畑(日南学園2001)もいいが、ここもやはり都城のあの代の三番打者で桑田(PL学園)から本塁打放っている点で選出。三塁手の石川は、のちに優勝する池田(徳島)に好ゲームで惜敗するまでの試合で本塁打を打っている点と主将というキャプテンシーを買った。

次は印象に残る宮崎勢の試合厳選8選

- ① 日南学園6－4玉野光南(延長10回)(2001)
- ② 都城0－1PL学園(延長11回サヨナラ)(1984春)
KKコンビのPLにあわやを演じた大熱戦
- ③ 延岡学園5－4富山第一(延長11回サヨナラ)(2013)
伝説の“5アウト”“奈須の6球”
- ④ 都城商2－1岡谷工(延長12回サヨナラ)(1981)
スラッガー加藤この試合自身2本目(大会3本目)はサヨナラ弾で8強決め
- ⑤ 日南学園1－2帝京(延長11回サヨナラ)(1995)
のちに事実上の決勝とも評された激闘
- ⑥ 都城3－2愛工大名電(1984春)
難敵を鮮やかに撃破し4強決め
- ⑦ 小林西3－6常総学院(延長10回)(1993)
格上常総を慌てさせるもコバニシ旋風終焉
- ⑧ 日南学園9－6桐光学園(延長11回)(2007)

①は、コンディションが万全でない寺原が5回から登板して当時甲子園史上最速の154km/hrを投じた試合で、リアルタイムにはNHKで視聴したが、24年経った今YouTubeで観返してみても寺原がけっこう痛打され一時逆転されたり、終盤は敗退の危機(9回裏は走者三塁にいてワンバウンド投球を中原捕手が後逸せず好捕したのもあったし二死満塁で3ボールまでいった)もあった。どうにかしのいで勝ち切ったところに寺原やこの代のチームの非凡さがみてとれ感銘を受けるし、4万7千人の大観衆、苦しそうにサイン交換する寺原、一塁手の長畑が「うん、大丈夫だ。ツーアウトだぞ」と言わんばかりに指を二本立てる、負傷の安田主将らベンチも総立ちで懸命に声を掛ける、ベンチに戻った寺原に小川監督が声を掛け何やら言葉を交わす。テレ朝系の小縣(おがた)裕介アナ実況、小枝守(当時)拓大紅陵(千葉)監督解説

のこの試合は高校野球の魅力が詰まっている。小枝さんのロジカル解説は一番好きだった。

MRT招待高校野球や本県開催の春・秋季九州高校野球も観に行ける時は行った。2年生で来宮した清宮(早稲田実)の打席では拍手のあと水を打ったような静寂に包まれスマホやタブレットをかまえる人が多かった。私は媒体に記録より海馬に記憶だと思い目に焼き付けた。九州大会では1992秋にみた1年生・福岡投手(当時の校名は樟南の前の鹿児島商工)が印象に残っている。

情報も、週刊ベースボール増刊号、報知高校野球に加え、SNS時代の今は、トーカイカイロチャンネル、高校野球ドットコム、かみじょうたけしの高校野球物語など参考にすると楽しみ方倍増だ。

2016夏～2019夏は休みを利用し一大会に一度は(1日間2試合程度)甲子園観戦した。試合展開もさることながら吹奏楽含む応援も楽しめた。チャンテは、ジョックロック(智弁和歌山)、You areスラッガー(大阪桐蔭)、ワッショイ(天理)、市船ソウル(市立船橋)など色々有名だが、現地で、戦闘開始(東邦)、フェスティーボ(八戸学院光星)、怪しいボレロ(龍谷大平安)、レッツゴー習志野(習志野)、第五応援歌(横浜)、ファイヤーボール(近江)、第九(東海大相模)は生音を聴けた。

以前は、死ぬときまでには宮崎勢の全国制覇をみたいと思っていたが、そんなことや、宮崎勢の令和初勝利を早くみたいとかも言わない。だって、宮崎が輩出した素晴らしい選手、チーム、心揺さぶる試合をこれだけ楽しませてもらっているのだから。しかも、そもそも、平和だから開催され観戦できるのだし、心身とも健康でないと観れなかったり観る気も起きない。平和・健康は有難いことなのだ。当たり前ではない。有(在)ること難しだ。努力を惜しまぬ球児には敬意を表する。

皆様にとっての宮崎ドリームチーム、ベストゲームはいかがだろうか?最後に、内容には時系列も含め十二分に留意したが万が一誤りがある場合は遠慮なくご指摘いただきたいのと、このような投稿の機会をくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げたい。

随 筆

愛犬は飼い主の夢を見るか? (Requiem編)
- *Adieu! Changii (Part 2)*日南市 北村胃腸科眼科 ^{きた}北 ^{むら}村 ^{まさ}應 ^お旺 (和生)

(Rhapsody編より続く)

ある日、チャンギーが“アリの巣コロリ”をかみ砕こうとしているとの緊急通報がもたらされた。口に入れば猛毒だ。私は庭に飛び出し、くわえているプラ容器を奪い取ろうとした。その瞬間、彼女の形相が変わり、ウーッと低く唸ったかと思うと、私の右手に激痛が走り、鮮血が滴った。すぐにその手で頭を張り倒したが、容器をくわえなおして素早く滑り台の下に潜り込んでしまった。私は「チャンギー！」と怒鳴り、にらみつけた。しばらく対峙していると、何と自分の方から、容器を放して、のそのそと私の前にやってくるではないか。やるか！私は飛び掛かかって首根っこを床に押さえつけた。しばらくそうしていると、苦し気な息をし始めたので、ようやく手を離した。そして理解した。怒りは急速に冷めて、少し感動さえして



隠れ家になっていた滑り台。ここで、よく悪さをしていた。

いた。獲物を横取りされそうになり、とっさに噛みついたが、悪いことをしたと分かったのだろう、自分から首を差し出してきたのだ。なんという潔さ！欧米では“飼い主に噛みついた犬は撃ち殺せ”というが、そんな気にはなれなかった。彼女が初めて人を、よりによって私を噛んだ。それは動物の本能に対する理解不足に原因があったと、右手の傷跡を見るたびに思う。



子どもたちとバラに囲まれて。長女は熊本の学校に進学のため、たまにしか帰省できず、ここに写っていない（撮影は妻）

お風呂のとき、複乳の一つにしこりがあるのに気づいたのは、やはり次女だった。私は乳腺炎だろうと希望的観測をし、気にも留めなかったが、その腫瘍がある時期から急激に増大し、結果的に彼女の命を奪った。亡くなる数か月前から、寝てばかりいるようになったが、食事の時間が近づくといつものように吠えるので、加齢現象と思い込んでいた。時折、息苦しそうに



薩摩おじの妻が、“西郷どんみたい”と気に入っている一枚。蛇足ながら、最近の私は、こんなヨレヨレの白くてダサいランニングではなく、ユニクロ製カラーランニングを着こなし、一層、締まった体つきになっている。

していることもあったが暑さのせいにしていた。亡くなる前日、立ち上がる際によろけ、全身で息をしているのを見て、長くないのではと思ったが、翌日はもう立ち上がるができなかった。私を見る目が、限界を告げていた。私にできることは、頭をなで、首筋を搔いてやることくらいだった。法事で妻と外出し、夕方帰宅した時、彼女はすでに息絶えていた。亡骸の周囲に、庭に咲いていたオレンジやピンクの秋バラと、紫のデュランタを入れた。目を赤くした妻が「チャンギーは私たちの子どもだよ」と声を掛けた。生まれてすぐに我が家に引き取られ、あっという間に我々を追い越して逝ってしまったチャンギー。その一生が幸福だったかどうか知る由もないが、後悔がないわけではない。事情が許せば、出産、子育てをさせてあげたかった。晩年はよく眠っていた。最後に見た夢に、子どもたちとの楽しかった日々や“第6天魔王”の如き私は登場したのだろうか？

翌日、犬小屋を片づけた。もちろん、映画“犬と私の10の約束”のように奥から家族写真がでてくる、といった劇的なエピソードはな

かった。ただ、その夜は元気に庭を飛び回っていた頃の雄姿が目に残り寝付けなかった。リビングから庭を見るとき、一抹の寂しさを覚え、時に、野太い彼女の声が聞こえる気がする。幻聴なのだろう。40年以上も前に初めて聴き、以来、折に触れて聴きなおす曲がある。解釈はさまざまだろうが、私は魂の彷徨いを歌った曲と解釈してきた。いつもいた馴染み深い場所に、心は幻影をみる。彼女はいつもそこにいる。

♪ ～ 口をきかぬお前の/寂しさが突然私にも聞こえる…雨は今夜冷たい/行く先もなしにおまえがいつまでも/灯りの暖かにとまった/にぎやかな窓を一つずつのぞいてる/今夜雨は冷たい～♪

－「エレーン」－ 唄・詩・曲/中島みゆき



リビングに飾ったチャンギーの遺影（水彩）。次女の勤務先である倉敷中央病院麻酔科の山下茂樹画伯が、写真を元に描いて彼女にプレゼントしてくださった。

随 筆

郵便受けからのメッセージ

宮崎市 谷 口 二 郎
たに ぐち じ ろう

生まれて初めてマンションというものに住むことになった。エントランスに世帯ごと郵便受けがあり、60世帯住んでいるのでそれだけの数郵便受けがある。その外側を見ると何かシールが貼ってある。何だろうと見てみると「チラシ等はいれなくてください」と書いてある。

どうやらいろんな業者が自分の店などの宣伝のためのチラシを入れるので、そういうのが不要な人は入れなくて欲しいということらしい。私もそうしようかと思ったが、せっかく新しい場所に移ったので、どんなパンフレットが入るのかに興味もあり、そのままにしておいた。

また、そういうパンフを入れるのはアルバイトの人で、一枚いくらの契約だと思う。その人たちの収入が入れる箇所が減ると少なくなるのではないかという親心もある。

早速入居した日から入るようになった。まず入っていたのがマンションのパンフレット。「今住んでいる所を高価でお買い上げします」というパンフである。おいおい、まだ住んで1週間も経ってないんだぞ。それを買取るなんて失礼極まりないとそのパンフをくしゃくしゃにしてゴミ箱に捨てた。しかし気になる。どれ位で買ってもらえるんだろうと、またゴミ箱からくしゃくしゃになっているパンフを取り出した。

もしかしたら何億円もするのかな？でも築25年だから、そんなしないだろう。しかも6階建てで約80㎡の中古物件である。しかし気になる。パンフの隅々を見てみたが、具体的な値段は書いてなかったので、またくしゃくしゃにしてゴミ箱に放り投げた。

次に入っていたのはピザのチラシ。クリスピーツァバーガー790円とあり、1mm四方にも満たない小さな文字で「お持ち帰り」と書いてある。よく見ないと気がつかないような小さな文字である。その下にピザのメニューのライ

ンナップ。アメリカン790円からシーフードスペシャル1,790円まで13種類。どれも美味そう。すぐ注文したくなる。ただし下の方に最低配達料金は1,000円と書いてある。店に買いに行くとこの値段だが、デリバリーになるとこれに最低1,000円プラスされることになる。例えばアメリカンは790円→1,790円、シーフードスペシャルは2,790円と書いてある。

わざわざ寒い中、あるいは雨の中配達するのは大変なことである。この1,000円が安いか高いかはその人の価値観による。その店の前を通る人は持ち帰りにするだろうし、タワーマンションで40階に住んでいる人はきっとデリバリーにするに違いない。

ただし言えることは、私は多分利用することはないだろう。なぜならマンションの目の前に宮崎一美味しいという個人経営のピザ屋さんがあるからである。もちろんデリバリーではなく取りに行く。ここのピザは本当に美味しいのだ。チラシのピザ屋さんごめんなさい。

中には宗教がらみのパンフも入っていることがある。先日は『おとなの仏教サロン』というのが入っていた。それには「何が起きても変わらない幸せとは？なぜ人の命は尊いのか、なぜ自殺してはいけないのか、お金で幸せは買えるのか、ブッダが教えられた幸せの法則とは 浄土真宗の開祖親鸞聖人に学ぶ」とあり「毎日の生活の中に、なぜかむなしさを感じて…」仏教を初歩からわかりやすく学べる講座ですとある。どうやら仏教を広めるためのパンフらしい。

今世界各地で紛争が起こっている。その多くが宗教が原因である。もし宗教が世界に一つしかなければ、戦争など起こらないかもしれない。世界ではほとんどの国民が自分の宗教を信じている。その中でも仏教、キリスト教、イスラム教は3大宗教と呼ばれ、大勢の人がそれ

を信じている。その他にも無数の宗教が存在する。でも不思議なことに日本人は無宗教の人が多いので、1人でも信者を増やそうということなのだろう。しかし一つ間違えとオウム真理教や旧統一教会などの問題のある宗教などに入る危険性もある。

美味しそうな果物の写真が載っているパンフもある。どこのだろうと思ったら郵便局だった。2～30年前から年賀状などの郵便物が少なくなった。私はよくハガキや手紙を出すのでよく郵便局に行く。一昔前までは待合室は長蛇の列で混み合っていたが、最近では2～3分で用が済む。びっくりする位少なくなってきたのである。

その理由はスマホである。スマホの普及で手紙を書かなくなった。郵便局やポストなどに行かなくても、どこでもいつでもメールすることができる。しかも写真も一緒に添付することができ、料金もかからないということになれば、当然郵便量も減る。宅急便なども取りに来てくれたりして手間もかからない。だからゆうパックなどを利用する人も激減しているのである。そこで収入を上げるためにギフト商品などに舵を取ることにしたのだ。そこでこのような九州限定の果物などのパンフを作ることになったのだろう。

パンフの中で一番多いのは新築マンションである。いつも不思議に思うのはそのマンションの値段がパッと見た時に書いてないことである。誰でも買物をする際はまず値段を尋ねるだろう。値段が分からなければ買いようがない。

もちろん書いてないという訳ではない。『物件概要』というのが必ず書いてあるが、販売価格は虫メガネで見ないと分からない位小さな文字で書いてある。図面はでき上がっているはずなので、何階の部屋は角部屋なのでいくらか、〇〇㎡の広さなのでいくらか分かんと思うのであるが、販売価格〇〇〇〇万円～〇〇〇〇万円と割と大ざっぱである。当然管理費や修繕積立金その他に月2万円近くかかる。さらに引渡時に修繕積立金30万円前後かかる。それ以外にもろもろのお金がかかる。

さて支払いであるが、普通購入時に価格の10%程度の頭金を用意するのが一般的である。このマンションの場合、頭金は要らず35年ローンを組んだ場合、毎月10万円の支払いとすると10年で1,200万円。20年後2,400万円。30年後3,600万円の65歳の満期で4,200万円と十分マンション代金を完済することが可能になる。

もし老後にマンションに入りたいということ

になっても65歳からローンを組むことができるという。65歳からローン？35年後に100歳なのと思う。人生100年時代とはいっても100歳まで生きている人はかなり少ないので、そんなことできるのかと思う。だが可能だ。

それは「親子リレーローン」というものだ。高齢になってマンションを購入したくなったら、親と子がタッグを組むのだ。完済時の年齢制限が満85歳と決まっているので、それまでに親と子が力を合わせて返済すればいいのだ。例えば65歳で借入額3,500万円借りるとすると、月々約20万円ずつ親か子が返済すれば購入可である。よく考えたものだ。

その下にここ10年間でいかに宮崎市のいろんなモノが値上がりしたか書いてある。宮崎市の平均地価推移は10年前と比べ3割上がり、1㎡当たり約7万5,000円。中古マンションの価格推移は約5割以上高騰して約2,800万円。建築費は約4割も上がりしかも金利も上がっている。買うのなら今がチャンスだと強力にプッシュしているのだ。確かにこういう資料を見せられると「今買わなきゃ！」という気持ちになるだろう。しかもこれから世界情勢もどうなるか分からない。「とりあえず買っとこう！」と思う人もいるに違いない。特にちょうどマンションを探していた人にとって、ラストチャンスとも思えてくるかもしれない。

銀行のパンフレットも入る。サマーキャンペーンというのを9月30日までやっているという。募集総額300億円。円定期預金特別金利6か月年0.375%、1年0.400%と書いてある。その下に1,000名様に宮崎県産品プレゼントと書いてあり、その横に美味しそうな食物の写真が並んでいる。そして銀行のアプリをご登録いただくと、抽選口数が5倍になるという。

このような世の中なのでいろんな手を使って銀行を利用して欲しいということらしい。銀行も大変なのだ。今からは明らかにキャッシュレスの時代になるので、それに対応しなくてはいけないということか。現金で支払いすることが多い我々お年寄りはずっと世のすみ押しやられ、財布など持っていない人が増えていくのだ。いずれトコロテンみたいに老人は押し出されていくに違いない。実に恐ろしいことだ。

まあいろんなパンフがポストに入っているものだ。今の所それを利用したことはないが、ポストの中からいろんな情報を入手できるということは大切なことだ。むげに断らずこれからもポストの中に入れてもらおうと思う。投入してくれるアルバイトする人のためにも…。

随 筆

いの は え けいこく
猪八重溪谷延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

猪八重溪谷は宮崎県日南市の北郷地区にあり、自宅の延岡市からは約127kmの距離があった。猪八重の「猪」はイノシシの生息地から来ている。「八重」とは、山の中腹に広がる平らな土地のこと。鹿児島県や宮崎県に多く、地名辞典によると宮崎県には、「八重」と付く地名が77か所もあるそうだ。また、「猪八重」という名字は全国で約200あるそうだ。

令和6年7月21日(日)に「南延岡」から高速に乗り、宮崎市の「田野」で降りた。少し小雨が降ってきたので、先行きが少し不安になった。一般道を通り北郷小学校を左折する頃には雨が上がったので、ホッとした。目的地の猪八重溪谷の駐車場に約2時間で到着。

この地区は年間降水量が3,000ミリになり、そのためサガリゴケ類、オビケビラゴケ、サガリヤスデゴケなどのコケ約300種類が生えている。2018年に「日本の貴重なコケの森」に認定されている。また、溪谷全体の案内板＝猪八重溪谷ロードマップが設置されていた。また、万が一のために、「担架」が設置してある場所（元発電所用遺跡、3号橋の袂と、五重の滝のトイレ側）や携帯電話通話可能ポイントの説明も記載されていた。駐車場と五重の滝には「トイレ」設備があるのがありがたかった。私は念のために携帯トイレを持参した。溪谷の川を左右に渡るために橋が7か所設置されていた。

9:30ごろ、入林記帳所で専用のノートに出発時刻をサインし、猪八重溪谷入り口を目指した。入り口のすぐ近くには「飢肥杉」のチップ（溪谷入り口チップロード）が撒かれてい

て歩きやすかった。説明板には「このロードは200mほど飢肥杉のチップを敷き詰めています。適度に柔らかく足に優しい感触を楽しんでください。チップの芳香にはリフレッシュ、リラックス、アンチエイジングなどの健康効果が認められています」と書かれていた。

そこを過ぎると、猪八重の滝風景林と五重の滝まで3.0kmの標識が設置されていた。他に同様の標識を5か所見付けた。少し歩くとゴツゴツした岩に変わり、足の裏が痛くて次第に歩き難くなった。木の名前に対する説明板が至る所に立ててあった。右手に猪八重川が流れていた。いろいろな木に説明板が至る所に設置されていた。例えば、「ハゼノキ ウルシ科 ウルシ属（落葉高木）暖地の山野に生え高さ10mになる。熟果の果皮からロウがとれるため、古くから栽培も行われてきた。用途：ロウの原料」。中には食用になる木の実もあった。

入り口から500mあたりに、64種類の広葉樹と、寝転んで森林浴を楽しめる（リラクゼーション）場所である「遊々の森」と名付けられた「学習の森」があった。

昭和30年代に使用した水力発電所用タンク跡が残っていた。『こんな山奥まで人が住んでいたのか』と驚いた。さらに先に進むと昭和30年代ごろまで使用されていた軌道（トロッコ）跡が見えた。奥山から猪八重の滝入り口付近広場まで木材搬出が行われていた。地形の険しい所は木馬による搬送、地形の緩やかな所では軌道を使って運搬していたそうだ。昔を偲べて良かった。

斜面や段差がある所には手すりや鎖が設置さ

れていて、安全のための工夫が至るところで見られた。要所に猪八重五重滝までの距離と溪谷入り口からの距離が表示された標識が設置されていた。

1号橋の近くには「ネムノキ」が生えていて、説明板もあった。「ネムノキ マメ科 ネムノキ属（落葉高木）山地や原野に生え、高さ10mになる。樹皮は灰褐色で滑らか。小葉は夜になると閉じて眠る。用途：庭木、公園樹」橋の説明板には「入り口からの距離」「五重の滝までの距離」「別称」がそれぞれに記載されていた。1号橋（ネムノキ橋）：1.5km, 2号橋（アオキ橋）：1.56km, 3号橋（ユスノキ橋）：1.7km, 4号橋（バリバリノキ橋）：1.9km, 5号橋（タラヨウ橋）：2.08km, 6号橋（チシャノキ橋）：2.14km, 7号橋（ヒノキ橋）2.6km。木の名前の愛称に親しみが湧いた。

6号橋と7号橋の間には「炭がま跡」の説明板があった。「昔はあちこちの山で炭焼きが行われていました。今も炭がまの跡が林の中に残っているのが見られます」

7号橋を過ぎると右手に穏やかな斜滝、落差約8mの「^{はけあい}流合の滝」が見えてきた。水が透き通っていて、覗き込むと心が穏やかになった。そこから「岩つぼの滝」を通過すると、広々とした平面的な岩盤があり、「鬼の千畳岩」と名付けられていた。



^{はけあい}
流合の滝

もう少しだけ先に進むと左手にトイレがあり、右手に最終目的地の「^{ごじゅう}五重の滝」の全貌が11:00ごろ見えて来た。落差が全体では25mあるそうだ。5段になっているかは不明だったが、他の滝にはない眺めが見られて良かった。水流が



^{ごじゅう}
五重の滝

多くて清々しさ感じた。滝の近くにマイナスイオンの説明板が設置されていた。「マイナスイオンは分子が10億から100億個集まった大きさの粒子のうち、マイナスに帯電しているものをいう。水の分子がぶつかり合った瞬間のその衝撃が発生し、滝や溪流、空気が澄んだ森など自然界に多く存在しており、空気のビタミンとも呼ばれています。マイナスイオンは血液の流れをスムーズにする働きや自律神経の乱れを整え心身を健やかに保つ作用があります。森のシャワーをたっぷり浴びましょう」

昼食と休憩を約30分で終えて11:30ごろ再出発した。途中で男性1人だけの組2組、男女2名ずつの組1組、男女1人ずつの組2組、女性だけ4人の組2組と出会った。予想していたより遙かに少なかった。帰りに、猪八重溪谷入り口付近の猪八重川で水遊びを楽しむ家族連れがいた。涼しそうなので、一緒になって遊びたかった。

13:00ごろ、駐車場に到着したので、入林記帳所で帰着時刻を記入。ゆっくり歩いたので片道1時間30分掛った。登山になれた人なら片道1時間で歩けそうだ。蜘蛛の巣に悩まされたが、木のおかげで歩行中はほとんど直射日光にさらされずにすんだ。熱中症予防のためにこまめに休憩し、水分補給を済ませた。帰りに「猪八重温泉足湯」で疲れを癒やした。

その後、都農町の「道の駅つの」に寄り、ここ限定の「ポリポリプリッツつ」「トマトのひねり揚げ」を買い、子どもたちへの土産とした。自分用には「都農ワイン」を買ってみた。楽しみだ!!

旅行記

日本縦断ドライブ その1

宮崎^{たか}市^{さき} 高^ま崎^{ゆみ} 眞 弓

小さな字は見えにくくなり、耳は遠くなってきた。だが、歳を重ねるだけで人は老いないという。理想を失うときに初めて老いると。これは米国の実業家サミエル・ウルマンの『青春』に紹介された言葉だ。日本のトップ企業家の愛読書になっているらしい。そうはいつても身体は着実に衰え、冒険心や情熱は湧き上がってこなくなる。

今年は筆者の干支で、『日州医事』から「新春随想」の依頼を受け、「礼状」というタイトルで拙文を書いた。7回目の干支なので、この先いつまで車を運転できるかわからない。そんな折、札幌の学友から5月に同期会を開催するから参加するようにとの手紙が届いた。それでは北海道まで車で往復してみるかと、久しぶりに青春の勇猛心が湧き上がった。

太平洋側の大都市はこれまで頻繁に訪れているので、今回は北海道、東北、北陸、中部地方を訪ねてみたい。これまで訪れたことのない土地、見てみたいところを訪れ、また昔一緒に働いた仲間や後輩と談笑するのも楽しいだろう。車に乗ってばかりでは体がなまるので、ときには山を歩きながら5月の日本を縦断することにした。

今生の別れを告げながら

白杵からフェリーで八幡浜へ上がり、瀬戸内しまなみ海道を通って広島県へ入り、竹原市で江戸時代の街並みを眺めた後、昔の弟子とフレンチを食べながら大笑い。

翌日は出雲大社へ行き、ドライブの安全を祈

願した。筆者は宮崎へ移る前、9年間出雲に住んでいた。島根医科大学に勤務していたのである。

出雲大社の隣にある出雲古代歴史博物館へ寄ったら改装中で入れない。仕方がないので、竹内まりやの生家・竹野屋を眺めながら街中をぶらぶらし、「割子そば」を食べようと有名な「荒木屋」へ着いたら定休日だ。

島根医科大学で働いていたときの師長や臨床工学技士は、すでに皆退職し、元気者だけ老健で働いている。数名が駅前の居酒屋に集まってくれた。筆者に分かるように旧姓で呼び合うなど気遣ってくれたが、なんの遠慮もなく昔話に花を咲かせた。もうこの先会うこともないだろう。

能登半島地震で壊れた石鳥居

筆者の親父は、石川県七尾市のさらに田舎の西三階町の出身である。従弟が健在なので久しぶりに尋ね、能登半島地震の被害を垣間見た。医者になった親父と同じく医者になった親父の従弟が、郷里の医師から多大な支援を受けて勉学を継続できたことに感謝して、1935年に近くの神社の入り口に石鳥居を建て寄贈した。その鳥居の島木が壊れて落下、上の笠木も折れている。こちらはまだ落ちていないが、いつ落ちるかわからない。鳥居は赤い三角コーンで囲まれ、残念至極。

筆者は、札幌と小樽の間にある銭函町で生まれ育った。春になると海はニシンで溢れていた。この田舎の小中学校で一緒だった旧友が、富山市に住んでいる。律儀に毎年賀状を送ってくるので会ってみたいとなった。今のカーナビは

かなり正確に玄関前まで案内してくれる。中学校卒業以来会ったことはない。それでも、顔を見たらすぐ分かった。小学校のときの写真をあらかじめ確認しておいたからか。

「どうして富山に来た」と聞くと、「ここならスキーができると思ったから」とのこと。筆者の趣味もスキーだが、雪のない宮崎へ来てしまった。人生いろいろ、それぞれだ。

登山も楽しみのひとつ

中国地方の百名山・大山はまだ雪に埋もれていたの、その南にある蒜山に登った。次は百名山・雌阿寒岳だ。随分北にあるが、雪はない。

新潟からフェリーで小樽に着くや、直ちに阿寒湖の近くの雌阿寒温泉登山口へ。2時間で標高1,499mの頂上に着いた。眼下に阿寒湖と雄阿寒岳が輝いて見える。あいにく風が強く寒いので、すぐ下山。今夜の宿は川湯温泉だ。夕食は途中のレストランでイノシシ肉とゼンマイを食べた。「神戸から移住した主人が捕らえたイノシシです。脂身もあります。コレステロールは少ないですが、いかがですか」と言われたが、「赤身で」お願いした。

八甲田連峰は雪があり無理だが、百名山・八幡平はどうか。ガスでよく見えない八幡平アスピーテラインを標高1,500mまで上がると、雪があるのに登山者やハイカーがいる。では筆者もと、雪の上を歩いて頂上を往復した。次は水芭蕉咲く尾瀬だ。その前に中尊寺と日光東照宮を見物しなければ。

道産子だが初めての知床

筆者は37歳まで北海道で暮らしていたが、知床を訪れたことはない。知床が今ほど有名でなかったこともある。まず快晴の摩周湖で中国人と一緒にビューティフルを連発した後、知床五湖を目指した。雪に覆われた斜里岳や海別岳を眺めながら、北海道の一直線の道路をドライブするのは、まことに爽快だ。

知床五湖の5つの湖を回るのは、ヒグマ活動期ということでガイド付き有料である。今回は無料の高架木道だけを歩くことにした。知床五湖は笹藪と沼で、木はほとんどない。ヒグマの

生息地なので歩くところを高架にしてある。もっとも感動したのは、羅臼岳を含む知床連山がみごとに湖に映っていたことだ。何と素晴らしい、写真をご覧ください。

その後、知床横断道路を通して羅臼に抜け、次に向かうは野付半島。根室海峡に突き出た全長26 kmの砂嘴。道路の両側が海、またはナラワラ、トドワラといわれる湿原、沼地である。ここから国後島がよく見える。



知床連山、右端が羅臼岳1,660m

幼児期に網走で手術を受けた

筆者は網走に少しばかり縁がある。それは、小学校入学前に網走厚生病院で鼠径ヘルニア根治術を受けたことである。軍医であった親父は、敗戦で英国・インド軍の捕虜になっていたが、1946年の年末に解放されて帰国した。このとき筆者は初めて親父と対面した。その後、親父は医局からの指示でこの院長に出向していた。手術を受けた翌朝、院長宅で寝ていた、外科医が診察に来たのを覚えている。

昔同じ医局で勉強した後輩が、網走でクリニックを開いているので、昼休みに訪問してすしをご馳走になりながら小一時間昔話をした。その後、筆者は網走監獄へ向かった。函館の五稜郭もそうだが、19世紀末に西洋を真似してよく造ったと感心するばかり。中央の八角形の見張り所から放射状に広がる5棟の舎房がすべて見渡せるようになっている。この囚人たちは、道東の道路の開削や原野の開墾などに貢献したことが展示されている。ちょうど桜が満開で、野外博物館・網走監獄は見ごたえがあった。

(つづく)

表彰・祝賀

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

い	で	かつ	ひこ	こ	みどり	ひで	ゆき	すぎ	た	あらた
井	手	勝	彦	小	緑	英	行	杉	田	新
ふく	なが	たか	ゆき	き	むら	たけし	はま	だ	けい	いち
福	永	隆	幸	木	村	健	濱	田	圭	一
みや	た	かず	のり	たか	お	ゆう	へい	の	だ	ひろし
宮	田	和	典	高	尾	雄	平	野	田	寛
はやし	だ	ただし		いえ	むら	ふみ	お	なか	むら	たけ
林	田	中	先生(延岡)	家	村	文	夫	中	村	剛
くろ	き	しげ	まさ							ゆき
黒	木	重	晶	先生(西都)						之
										先生(日向)

令和7年8月26日、学校保健功勞により県教育長お受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



井手 先生



小緑 先生



杉田 先生



福永 先生



木村 先生



濱田 先生



宮田 先生



高尾 先生



野田 先生



林田 先生



家村 先生



中村 先生



黒木 先生

救急医療事業功労により県知事表彰

いま	むら	たく	ろう	
今	村	卓	郎	先生（宮 崎）
もり	やま	たく	ぞう	
森	山	拓	造	先生（都 城）
おうりょうじ	あつ	しげ		
押領司	篤	茂		先生（延 岡）
なか	ひら	たか	あき	
中	平	孝	明	先生（日 向）

令和7年9月8日、救急医療事業功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



今村 先生



森山 先生



押領司 先生



中平 先生

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

なが	ぬま	こうざぶろう	
長	沼	弘三郎	先生（延 岡）

令和7年9月9日、救急医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



長沼 先生

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

てら お きみ なり
寺 尾 公 成 先生（西白杵）

令和7年9月9日、産科医療功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



寺尾 先生



「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和8年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
字 数 800字程度(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことが
ありますのでご了承ください)

締 切 令和7年12月5日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

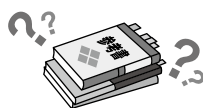
宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。



あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は69ページ)

1. 疾患と好発部位の組合せで誤っているのはどれか。
a 疥 癬 ————— 外陰部
b ケロイド ————— 耳 介
c 脂腺母斑 ————— 頭 部
d 血管性浮腫 ————— 口 唇
e ケラトアカントーマ ——— 臍 部
2. 随時血糖250mg/dLを示す非妊娠者で糖尿病の診断基準を満たすのはどれか。2つ選べ。
a 尿糖陽性
b 尿蛋白陽性
c HbA1c 6.7%
d 尿ケトン体陽性
e 口渇、多飲、多尿の症状
3. 血中FSH54mIU/mL (基準 5.2~14.4)、血中エストラジオール10pg/mL (基準25~75) の場合、続発性無月経の原因部位はどれか。
a 視 床
b 視床下部
c 下垂体
d 副 腎
e 卵 巢
4. 98歳の女性。家族から呼吸が止まったと往診依頼があった。5年前に脳梗塞を発症し、3年前から寝たきりとなり、訪問診療を受けている。本人の意向で積極的な治療は行わずに在宅看取りの方針であった。1か月前からほとんど食事が摂れなくなり、体重が減少してきた。2週間前から傾眠状態となり、ここ数日は体を揺すっても反応がなかった。本日未明に依頼があり、早朝に往診した。家族によると4時間前に呼吸が止まったという。診察を行い、瞳孔散大、呼吸停止および心停止を確認した。背中にはわずかに死斑が出現し、顎関節には死後硬直が出現していた。身体に外傷はなく、るいそうと脱水所見を認めた。経過と死体所見から老衰による死亡と判断した。
死亡診断書の直接死因欄に記載するのはどれか。
a 老 衰
b 心不全
c 脳梗塞
d 呼吸不全
e 不詳の死
5. 大腿骨頭壊死症と関連が深い疾患はどれか。
a 胃潰瘍
b 狭心症
c 全身性エリテマトーデス (SLE)
d 糖尿病
e 肺結核
6. 症候と疾患の組合せで誤っているのはどれか。
a 排尿障害 ————— 部脊柱管狭窄症
b 歩行障害 ————— 頸椎性脊髄症
c 腰背部痛 ————— 解離性大動脈瘤
d 下肢の冷感 ————— 深部静脈血栓症
e 膝関節腫脹 ————— 偽痛風
7. 皮膚開放創の消毒に用いることができるのはどれか。
a エタノール
b グルタルアルデヒド
c 次亜塩素酸ナトリウム
d ポビドンヨード
e ホルマリン
8. 原発巣コントロール良好な転移性脳腫瘍の治療で、定位放射線照射が適切なのはどれか。
a 髄膜播種を伴う病変
b 脳ヘルニアを伴う病変
c 多数の病変 (15個以上)
d 薬物療法に高感受性の病変
e 小さい病変 (最大径3 cm以下)
9. 国民生活基礎調査に含まれないのはどれか。
a 医 療
b 教 育
c 所 得
d 福 祉
e 保 健
10. 68歳の女性。骨粗鬆症を心配して来院した。若いときよりも身長が約2 cm低くなり、娘からは背中が丸くなっていると指摘されている。腰痛の訴えはない。2年前に腰椎圧迫骨折の既往がある。立位姿勢は軽度の前屈位。腰部に圧痛や叩打痛を認めない。下肢の運動障害や知覚障害を認めない。腰椎エックス線写真では第1腰椎の圧迫骨折を認めた。骨密度検査 (DXA) では、腰椎は若年成人平均値 (YAM) 85%、大腿骨頸部はYAM 82%であった。
骨粗鬆症治療薬の開始時期で適切なのはどれか。
a 現時点
b 腰痛が出現した時
c 再度骨折を生じた時
d 下肢の神経障害が出現した時
e 腰椎または大腿骨の骨密度がYAM70%以下となった時

エコー・リレー

(602回)

(南から北へ北から南へ)

クリニック建築のはなし

宮崎市 さどわら眼科 いし あい みち たか
石 合 理 崇

建築が好きで、小さいころの夢は大工さんであった私がクリニックの新築に挑むことになった。患者さんの動線や職員の動きを想像しながら、使いやすい間取りを考え、またそれが外観

に直結するので、上手にいくよう想像しながら理想を頭の中で3D化する作業が非常に楽しいものであった。費用面、工法、法律の制限で諦めた部分も多かったが、設計士さんと相談しつつ、建材・内装材などを選定し耐久性や質感を維持しながらコストを抑えられたのではないと思う。星の数ほどある建材から苦勞してよいものを探し当てたときは、小躍りするほど嬉しかった。その中でも、旭トステムのプレーナーウッド軒天、ソリッド type F、ミラタップのフッカなどはコスパよくセンスも〇で一般住宅にもおすすめである。

図面が決まり工事が始まると、建築を進めつつ、毎週の会議で実際の部分を詰めていく。干渉して設計図通りにいかなかったり、タイルが欠品して変更となったり、床の厚みが2mm違うなど、さまざまなトラブルが起きるので、そのたびに話し合って解決していく。おそらく施主の中には有り得ないと立腹する人も出そうなほどだが、現場について理解をすればそんなものだと思得できると思う。トラブルを乗り越え、沢山の関係者の尽力でようやく形になっていくのが建築なのだ。そうこうしている間に約8か月かけて完成し、綺麗に仕上がったクリニックをみながら、人生の再スタートを実感する私であった。

[次回は、宮崎市の杉田 直大先生をお願いします]

思えば遠くへ来たもんだ

高鍋町 崎浜胃腸科医院 さき はま くに はる
崎 濱 國 治

1978年にリリースされた海援隊の1曲である。老境に入った身にとっては、懐かしい歌詞である。今となっては特に趣味特技のない自分にとって、若かりし日の思い出が脳裏を去就するノスタルジーの世界に思

いを浸らせるだけである。大学はできるだけ北を目指した。往路は大阪までは寝台特急「彗星」のB寝台に約16時間20分間車中泊し、大阪からは寝台特急「日本海」のB寝台に約16時間10分間車中泊して向かった。日豊海岸、瀬戸内海、北陸、日本海沿岸の車窓の風景をつぶさに網膜に焼き付けた。逆に、年1回の帰路は時刻表を片手に各駅停車便で自由気儘に旅を楽しんだ。ほぼ日本中の各地を旅した。当時は気づきもしなかったが今思えば全く贅沢な旅であったと言える。今でも当時の列車の時刻表をネットで閲覧できることには驚いた。時間をつぶすのによい。

また、在学中はもともと興味のあった山岳部に入部した。残雪の中に気品を漂わせて咲き誇る水芭蕉群の南八甲田、山腹を紅葉で覆い尽くされた北八甲田、ブナ原生林が豊かに密生して森林浴に相応しい世界遺産認定前の無垢な白神山地、厳冬期には全山豪雪に纏われシュカブラ（雪紋）に魅了される岩木山、石川啄木や宮澤賢治にも愛された岩手山、幾多の高山植物が咲き乱れる森吉山、可憐なウスユキソウがひそかに咲く遠野早池峰山、渡島半島の秀峰駒ヶ岳、神々の住む重厚な飯豊連峰など足繁く山行を楽しんだ。帰りの麓では必ず温泉に入浴して疲れを癒した。現状では当時を再現することは叶わないが、安全な旅と入山を許してくれた鉄道と山々には今さらながら感謝でしかない。

[次回は、日南市の井手 秀幸先生をお願いします]

メディアの目



地域ぐるみで支える

毎日新聞 宮崎支局長

かとう まなぶ
加 藤 学

TBSの日曜劇場「19番目のカルテ」が面白い。内科、外科など18ある領域に加え、近年、新領域「総合診療」ができたということを、恥ずかしながら、このドラマで初めて知った。ウェブで検索したら、時事メディカルにこうあった。「2018年4月、日本で新しい専門医制度がスタート。それまでも各医学会が認定する『専門医』という資格は存在したが、新専門医制度は各医学会から独立した形の一般社団法人『日本専門医機構』を設立し、この機構が専門医を認定する仕組みとなった。（中略）それに伴い、機構は19番目の新たな専門医資格として『総合診療専門医』を加えた」。

ドラマでは、主役の総合診療医（松本潤）が患者らに向けて発する「あなたのお話、聞かせてください」という台詞が繰り返し出てくる。作中貫いているのは患者に寄り添い、そして患者と小児科などの専門科医との橋渡しをするというスタンスだ。病院内外の人間模様もさることながら、医療現場から見える社会課題に切り込んでいて興味深い。2回目のテーマは病気を抱える家族の介護や世話を子どもが担う「ヤングケアラー」。病児の弟の面倒をみてきた主人公の兄の苦悩と、それに寄り添う医者が丁寧に描かれていた。

毎日新聞は、ヤングケアラーを支えようと、延岡市で無料のフリースペース「こどもの居場

所～hagumi（はぐみ）～」が開所したという記事を掲載した。それによると、主に小中高生が対象で、勉強以外にも読書や飲食など、自由な居場所として利用してもらい、とある。市が2022年度から取り組むヤングケアラー支援体制強化事業の一環。開所式で施設長らは「大丈夫、独りじゃないよと、利用者の心に寄り添いたい」「負担を抱える若者が心身ともリラックスできる場として支援していきたい」と語った。ヤングケアラーについて、宮崎県は22年度に調査を実施。「ケアする家族がいるか」という問いに、小6と中2で各3.8%、高2で3.2%が「いる」と回答したという。

子どもを支える動きは他にもある。フードリボンプロジェクトという取組みをご存知だろうか。飲食店で客がリボンを300円で購入することで、このリボンが食事券代わりとなって後から店を訪れた子どもたちが無料で食事できる仕組みだ。一般社団法人「ロングスプーン協会」（千葉県）が全国で展開しており、活動ぶりを知った日南市が飲食店に参加を呼びかけ、7月から市内2店舗が取り組んでいる。スタッフの言葉が心に残る。「リボンを介して地域の大人から子どもへ、やさしさや温かさを伝えていきたい」。SNSでとがった刃のような言葉が飛び交う昨今。それぞれの立場で、宝である子どもたちを育みたい。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第50回 九州大学病院における説明義務違反事例について

**Q.**

先日の報道にて、九州大学病院で心臓手術を受けた後、寝たきりになった患者に対して、裁判所が医療機関側に説明義務違反を理由に160万円の賠償を命ずる判決がニュースになっていました。これは医療機関に新たな説明義務を求めるものでしょうか。この判決が医療現場に与える影響を気にしています。

まず前提としてご質問のケースは地方裁判所の判決であるため、今後、高等裁判所などで結論が変わる可能性が存在することには留意が必要です。そのうえで、医療機関側の弁護士の目線でこの判決内容について解説致します。

医療機関における患者への説明義務は、患者自らが受ける医療内容を選択し決定できるよう、患者の自己決定権を確保するために求められる義務となっています。

この点、説明義務に関する重要な最高裁判決があります。これは平成3年当時、乳癌患者の手術を行うに際して、当時比較的新しい治療法であった乳房温存療法についての説明を行うことなく、従来の方法である乳房切除術を行った事例に関して、「患者に対して患者の乳がんについて乳房温存療法の適応可能性のあることおよび乳房温存療法を実施している医療機関の名称や所在を説明しなかった」点につき、説明義務違反を認めました。

つまり、当該患者において、関心を持つであろう事項に関し、いまだ未確立でも他の治療方法があるならばその点の説明を行うべきであったとの判断となります。

当該最高裁の考え方をふまえて本件を見てみると、本件では冠動脈バイパス手術においてオンポン手術（人工心肺使用）とオフポン手術（心拍動下手術）の2つがあり、そのメリット・デメリットがそれぞれ存在し、脳梗塞リスクや再手術の可能性など患者にとって関心の高い事柄について差異があるならばこれを説明すべきであったとする福岡地裁判決は自然な結論と言えるでしょう。誤解なきよう付言すれば、上記最高裁の事例も、本件福岡地裁も、術式の選択が妥当であったことは前提としています。あくまで説明義務に絞った点においてその義務違反を認めているということです。

したがって、本件九州大学病院における説明義務違反は従前の裁判所の考え方と同様の判断基準で審査されたものといえます。逆に言えば、これらの裁判所の考え方を押さえた患者への説明が、今後も医療機関には求められるとも言えるでしょう。

（回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士

弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂）

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～8月～

令和7年8月4日～令和7年8月31日（第32週～第35週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核7例（男性1例・女性6例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症6例：宮崎市（3例），都城，延岡，小林（各1例）保健所管内から報告があった。患者が3例，無症状病原体保有者が3例であった。年齢は0～4歳が2例，5～9歳，60歳代，70歳代，80歳代が各1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便，発熱等がみられた。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代の女性であった。主な症状として発熱，頭痛，腹痛，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，刺し口があった。

○日本紅斑熱9例：宮崎市（6例），延岡（2例），日南（1例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代が3例，70歳代，80歳代が各2例，20歳代，50歳代が各1例であった。性別は男性4例，女性5例であった。主な症状として発熱，頭痛，刺し口，発疹，肝機能異常等があった。

5類：○侵襲性インフルエンザ菌感染症1例：小林保健所管内から報告があった。年齢は90歳代で，主な症状として発熱，肺炎，菌血症がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳で，主な症状として発熱，痙攣，髄膜炎，菌血症がみられた。

○梅毒9例（男性4例・女性5例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，扁平コンジローマがみられた。

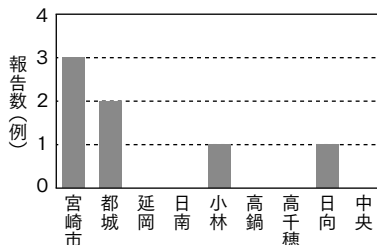


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	1

表3 腸管出血性大腸菌感染症 原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O103(VT1)	3
O111(VT1)	1
O157(VT1,VT2)	1
O157(VT2)	1

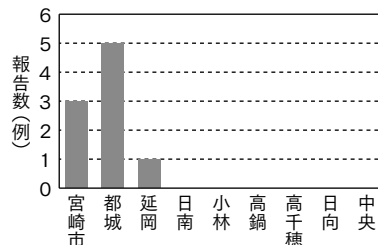


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕性梅毒Ⅰ期	4
早期顕性梅毒Ⅱ期	3
無症状病原体保有者	2

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	2
20歳代	4
30歳代	2
40歳代	1

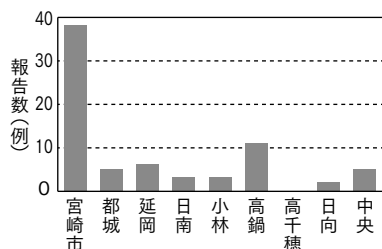


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	2
5～9歳	15
10歳代	38
20歳代	7
30歳代	3
40歳代	4
50歳代	1
60歳代	2
80歳代	1

○破傷風1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣がみられた。

○百日咳73例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタックート，ウーブ，嘔吐，白血球数増多，肺炎等がみられた。ワクチン接種歴は有りが37例，不明が35例，無しが1例であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は2,842人（定点あたり137.0）で，前月の104%，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の73%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は5,670人（定点あたり202.5）で，前月の84%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症，RSウイルス感染症で，減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎，伝染性紅斑及びヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎，伝染性紅斑，マイコプラズマ肺炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は1,898人（67.8）で前月の約2.0倍であった。高鍋（122.5），延岡（121.3），日向（81.5）保健所からの報告が多く，20歳未満と60歳以上がそれぞれ全体の約3割ずつを占めた。

伝染性紅斑の報告数は122人（8.1）で前月の約0.7倍，例年の約5.2倍であった。中央（19.0），宮崎市（16.4），日南（7.0）保健所からの報告が多く，4歳から7歳が全体の約6割を占めた。

前月との比較

	2025年8月		2025年7月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	9	0.3	30	1.1	
新型コロナウイルス※1	1,898	67.8	932	33.3	
RSウイルス感染症	72	4.8	33	2.2	
咽頭結膜熱	28	1.9	37	2.5	
溶レン菌咽頭炎※2	143	9.5	206	13.7	★
感染性胃腸炎	335	22.3	537	35.8	
水痘	19	1.3	21	1.4	
手足口病	7	0.5	18	1.2	
伝染性紅斑	122	8.1	169	11.3	★
突発性発しん	40	2.7	40	2.7	
ヘルパンギーナ	96	6.4	269	17.9	
流行性耳下腺炎	4	0.3	5	0.3	
急性出血性結膜炎	2	0.3	0	0.0	
流行性角結膜炎	51	8.5	43	7.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	16	2.3	9	1.3	★
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	
急性呼吸器感染症	5,670	202.5	6,793	242.6	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体			検出数
インフルエンザ ウイルス	A 型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B 型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			21
RSウイルス	A 型		1
	B 型		0
パラインフルエンザ ウイルス	1 型		0
	2 型		1
	3 型		1
	4 型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			6
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			1
検出せず※2			24
受付検体数			55

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件
細菌	EHEC（O157：H7 VT1,2）	1
ウイルス	Adeno virus 1	1
	Human parecho virus A5	2
	Parainfluenza virus 3	1
	Dengue virus 2	1
	Human parvo virus B19	2
	Parainfluenza virus 4	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2025年8月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人（3.4）で、前月比129%と増加した。また、昨年8月（4.4）の約0.8倍であった。

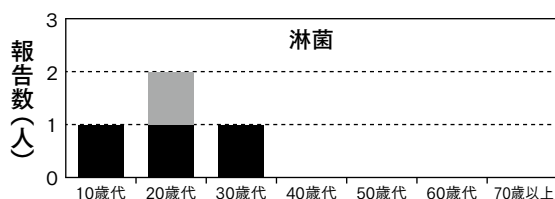
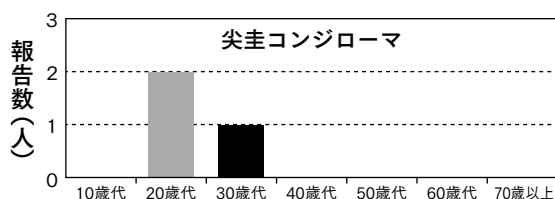
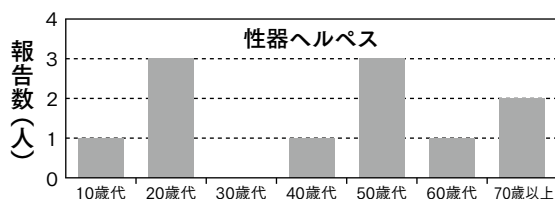
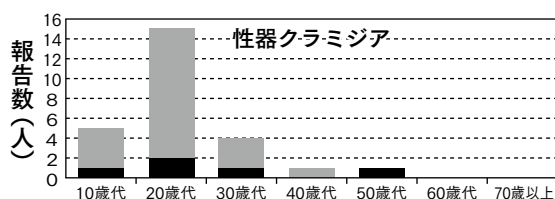
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数26人（2.0）で、前月の約1.2倍、昨年8月の約1.1倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性5人・女性21人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人（0.85）で、前月の約1.2倍、昨年8月の0.5倍であった。（女性11人）

○尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、昨年8月の3.0倍であった。（男性1人・女性2人、前月報告なし）

○淋菌感染症：報告数4人（0.31）で、前月の約1.3倍、昨年8月の約0.4倍であった。（男性3人・女性1人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は12人（1.7）で、前月比86%と減少した。また、昨年8月（3.3）の約0.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人（1.7）で、前月の約0.9倍、昨年8月の約0.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

日赤だより

【宮崎県赤十字血液センター】

献血へ血液確保へのご協力をお願いします

令和6年度は延べ38,732人の皆様に献血のご協力をいただきました。令和5年度と比較すると2,555人の減少となりました。残念ながら400mL献血計画に対する達成率で全国最下位となってしまいました。

県内医療機関にお届けした輸血用血液製剤は、200mL献血由来を1単位として149,361単位で、前年度と比較すると6,976単位の増加となりました。

本年度の計画に対する達成率は表に示すおとりの結果で、いまだに他県に頼らざるを得ない状況です。

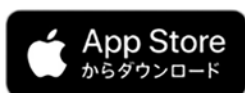
全 血	4 月	5 月	6 月
計 画	4,774	4,847	4,658
実 績	4,345	4,581	4,534
達 成 率	91.0%	94.5%	97.3%

医療で必要とされる血液製剤をいつでも安心して使用できるように備えておくには、安定的な献血血液の確保が必要です。献血可能な年齢層の人口が今後急速に減少しているなか、将来にわたり安定的に献血血液を確保するためには、若い世代を中心に広く国民の皆様が世代を超えて献血にご協力いただくことが必要不可欠です。また、高血圧などの一部の疾患では治療中でも献血可能な方がおられます。患者さん方にもお声掛けいただけると幸いです。下記URLも参照ください。

https://www.bs.jrc.or.jp/bc9/fukuoka/donation/m2_01_03_index.html



※ 献血Web会員サービス「ラブラッド」の登録もお願いします。



※Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。※App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

各都市医師会だより

宮 崎 大 学 医 学 部 医 師 会

～「南海トラフ」津波災害の避難所は宮崎大学～

毎年、宮崎大学では「宮崎大学（木花キャンパス）自衛消防訓練」が実施されています。第一部は、日向灘沖で震度6強の地震が発生したことを想定し、全教職員および全学生を対象に安否確認システムを用いた報告訓練です。第二部は、宮崎県南部で震度6強の地震が発生したことを想定し、シェイクアウトの後に避難誘導や報告訓練などを行うものです。火災が発生したことを想定した消火訓練や、防災関連機器の体験訓練なども実施されています。

一方で、「安否確認システム」に回答がなかった職員・学生をどのように把握するのかについては議論されたことはなく、また災害時に学外からの避難者に対する対応についてのシミュレーションも行われていないようです。

先日、勤務医部会の講演で、元陸上自衛隊の川崎朗氏のご講演を拝聴しました。川崎氏は自身の経験から、南海トラフ地震による津波被害をいかに最小化するかについてお話してくださいました。「自助、共助、公助」と言われるものの、地震や津波の際には残念ながら時間的に「公助」の対応は間に合わないため、自助や共助のシミュレーションを徹底すべきである、とのことでした。

宮崎大学医学部附属病院は基幹災害拠点病院となっていますが、木花にある宮崎大学は「津波被災地に隣接する大学」に該当し、体育館は避難場所として指定されています。しかし、これまで一度もシミュレーションは行われていません。今後、この点について真剣に検討していく必要があります。先日、学長からその担当を指示いただきましたので、全力で取り組みたいと思います！

（賀本 敏行）

宮 崎 市 郡 医 師 会

病院の7割、公的病院も9割が赤字になっている。公定価格である診療報酬は上がり物価上昇に対応していません。賃金を他産業と同じように上げることが難しく、人員不足にもつながっています。救急や入院の受け入れを制限する病院が相次ぎ、開業医の閉院も起きています。医療機関は過去最大の規模で倒産、廃業がすすみ、深刻な経営危機に陥っています。これは、とりもなおさず地域住民の医療を受ける権利が困難な状況にあると言えます。

マスコミでも取り上げられ、日本医師会・6病院団体は、地域医療は崩壊寸前と警鐘を鳴らしました。国は、国民皆保険制度を維持し、医療提供体制を整備、拡充し地域医療を守る責任があり、速やかに対策を講じて欲しいものです。宮崎市郡医師会の理事会は、毎週水曜日に開催されていますが、理事の負担軽減や、災害時の訓練もかねて、現地+Webでのハイブリッドでの会議を月1回試行錯誤しながら、始めました。

（遠藤 豊）

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

先般宮崎県の人口動態が発表され、宮崎県全体では約1万人の人口減少が報告されました。当都市では移住促進政策も実を結んで県内で

唯一3,000人の人口増加が報告されました。それにともない、他県からの紹介状持参の患者さんもちろほら来院されております。特に子育て世代の世帯が増加傾向です。また都城志布志道路の開通もあり、県南から志布志、大隅地区などの広域医療圏からの患者さんの来院が増加傾向の印象です。当医師会も都市市郡医師会病院に心臓・脳血管・透析センターもオープンしてパワーアップしており、県西地区の中核医療都市として医師会員一同頑張っております。周辺自治体からの期待や移住された方々が安心して生活でき、病気に罹患したときに医療がスムーズに受けられ、安心な医療体制を構築できるよう日々会員一同頑張っていきたいと思っております。

（山内 明）

延 岡 市 医 師 会

延岡市でも医療・介護の現場は人材不足や経営難が深刻化し、事業所の休止や縮小が懸念されています。加えて宮崎県の最低賃金が1,000円を超える見込みとなり、診療報酬が上がらない中で経営の舵取りは一層難しくなっています。AI活用など新たな試みが進む今こそ、地域医療を支える人材の価値をあらためて見つめ直すことが求められていると感じます。

（岩谷 健志）

日向市東臼杵郡医師会

宮崎県民健康・栄養調査において、日向市・東臼杵郡は一日平均歩数および野菜摂取量が県内下位となる結果が示されました。これを受け、医師会は日向市・門川町と連携し、住民の健康増進を目的とした啓発ポスターを作成いたしました。本ポスターは他地域にもご活用いただきたいほどの力作となっており、10月より医療機関や学校、商業施設等に配布する予定です。

(甲斐 史朗)

児 湯 医 師 会

本年6月中旬に児湯医師会総会において、令和7年度収支予算報告と令和6年度収支決算の協議がなされました。赤字の主たる原因は児湯准看護学校事業なのですが、その収益を増やすためには入学者数を増やすしかありませんが、毎年数を確保するのに悩まされている現状であり、支出を減らすにはその主を占めるのが職員の給与、賞与などになります。しかし、このデフレ不景気、食料費用・エネルギー高騰、また、そのような中でも中小企業が人材確保の目的で職員待遇をよくしようと頑張っている流れの中においてこれを固定あるいは削減するのは非現実的です。他の手立ては医師会会員に毎年多く入会してほしいのですが、今までの歴史からこれは期待できません。現実的な早期改善策が見当たらないために、今後も確実に毎年収支マイナスが続くと思われます。

(山口真太郎)

西都市西児湯医師会

10月になると次年度の小学校入学予定の児童健診が行われます。今年も健診を楽しみにしているのですが、新入生は年々減り続け少し寂しい気がします。その影響もあり今年度、令和8年3月30日をもって、昭和22年創立の西都市立妻中学校が閉校します。といっても校舎はそのまま来年度からは西都市立西都中学校と名称が変わり、校章、校歌も新しくなります。西都市内の中学校(妻・穂北・都於郡・三納・三財)が統合されることにともない新設されます。私は卒業生ではないのですが自分の父が通い自分の娘が最後の卒業生になることが感慨深いです。現在、閉校記念事業が行われています。気になる方は妻中学校のHPなど覗いてみてくだ

さい。今月は在宅医療介護連携のためのICTシステムであるメディカルケアステーションの説明会が開催予定です。当医師会も7月1日より西都市西児湯地域包括ケア推進センターを稼働しています。ぜひご参加ください。

(上山 裕史)

南 那 珂 医 師 会

南那珂医師会では毎年夏から秋にかけて、各地区や県立日南病院の先生方と交流会を開いています。高齢化と医療資源の乏しさという“ダブル高難度ステージ”で地域医療を支えるには、やはり人のつながりが要です。診察室では見せない顔と、酒の席でしか聞けないホンネが飛び交い、笑いあり、真剣な医学論議あり。ノンアルコール飲料で酔える人もいますし、「この先生、実はこんな隠しキャラだったの!？」と驚くこともしばしば。—そんな熱い時間こそが、南那珂の医療を下支えしています。

(峰松 俊夫)

西 諸 医 師 会

2015年に開校した小林看護医療専門学校は、高い国家試験の合格率と独自の奨学金制度があります。定員は40名ですが、最近受験者も地元就職も減少傾向です。看護師全体の数は増加傾向ですが、西諸のような過疎地域の不足は顕著です。23年に閉校した准看護学校も閉校理由の一つとして生徒数の減少があります。給料やキャリアアップを考えると、若手看護師がこの地域で働きたいと思ってもらえるような環境が少なく確保は難しいです。流出が慢性化して、数年後に残った医療従事者の負担が増えなければいいのですが。

(石澤 宗純)

西 臼 杵 医 師 会

マイナンバーカードの普及にともない、窓口での資格確認をマイナンバーカードで行う患者さんが増えている。8月は高齢者の窓口での負担割合の変更月である。本人には資格確認書で通知されてはいるが変更がある人でも自分の負担割合を認識していない人もいる。変更がコンピューターに反映されないことが数件あった。マイナンバーカードによる資格確認を推奨するのであれば、そのあたりも速やかな対応をしていただきたいものである。

(古賀 志朗)

宮崎大学医学部だより

発達泌尿生殖医学講座 ー産婦人科学分野ー



桂木 真司 教授

本年度、当教室には新たに4名の医局員を迎えました。若い力の加入により、産婦人科診療・研究・教育のさらなる発展が期待されます。宮崎県全体の周産期死亡率は全国でも常に上位の水準に位置しています。

2025年9月には県立宮崎病院にて「周産期症例検討会」を実施しました。ここでは過去6か月間に宮崎県内で発生したすべての周産期死亡症例、ならびに神経学的後遺症を残す可能性のある新生児症例を対象に詳細なレビューを行い、次期の周産期医療における課題を明らかにし、改善へとつなげる取組みを続けています。宮崎県産婦人科医会の事業として1998年より継続しており、本県の周産期分野の疫学研究として大きな意義があります。

当科には病状が進んだ段階で婦人科悪性腫瘍をご紹介いただくことが多くあります。これに対し当科では、婦人科腫瘍治療として積極的に手術療法を行っており、進行卵巣・卵管癌に対してはPDS (Primary Debulking Surgery) での根治切除の可能性を集学的に探り、困難な場合、審査腹腔鏡、化学療法 (Neoadjuvant chemotherapy)、そして腫瘍減量手術 (IDS, Interval Debulking Surgery) を組み合わせた治療を行っています。さらに最先端の化学療法や分子標的治療の導入にも力を入れており、免疫チェックポイント阻害剤や遺伝子異常に基づく個別化治療など、最新のアプローチを積極的に取り入れています。これにより最先端の医療を患者さんに提供しています。一方で、宮崎県は子宮頸がんや卵巣がんの発生率が全国的にみても高い水準にあります。この現状をふまえ、県

民の皆様への啓発活動を強化することも重要な課題と考えています。そこで「ひなたキャンパス」を活用し、婦人科腫瘍に関する正しい知識の普及や早期受診の重要性を広く発信してまいります。

これらの周産期・婦人科医療での取組みは、大学病院としての使命である高度医療の提供と同時に、地域全体の医療水準を底上げする役割を果たすものです。当科は今後も県内の医療機関と緊密に連携し、最新の知見と技術を地域へ還元することで、宮崎県全体の産婦人科医療の向上に貢献していきたいと考えています。

2026年4月からは佐藤謙成先生がIVFなんばクリニックに国内留学し、高度生殖医療やAYA世代の妊孕性温存療法を学びます。また同時期に松敬介先生が富山県立中央病院に留学し、婦人科内視鏡・ロボット手術、子宮鏡手術の研鑽を積みます。帰任後はそれぞれの専門性を活かし、地域に還元してくれることが大いに期待されます。

県内関連二次施設（県立延岡病院、県立宮崎病院、県立日南病院、宮崎市郡医師会病院、古賀総合病院、善仁会病院、都城医療センター）と密接な協力関係を築き、交流と連携を深めています。

今後も新しい医局員の加入を得ながら、2026年度には3名程度の新規の入局者を目指しています。産婦人科医療の未来を担う若い力とともに、県民の皆様信頼される「明るい宮崎の産婦人科医療」を築いていく所存です。



専 門 分 科 医 会 だ よ り

(小児科医会)



たかぎ じゅんいち

高木 純一 会長

はじめに、県小児科医会は現在、開業医52名、勤務医102名の計154名で構成されております。その主な活動は、年3回の役員会と年2回の学術集会の開催です。学術集会は会員発表2題と特別講演2題の構成です。

講師の選定は、特別講演2題のうち1題は、宮崎大学医学部の教授に就任されまだ間もない先生にお願いしております。教授自身の研究を含めた他科の講演を聞くことは会員にとっても新鮮なようです。外部講師による特別講演として昨年度は、安房地域医療センター小児科部長市河茂樹先生が「外来で診る子どもの発達障害」、国立精神・神経医療センター精神保健研究所薬物依存研究部部長松本俊彦先生が「市販薬オーバードーズの現状と対策」の演題名でご講演していただきました。役員会においては、県内で開始されつつある1か月検診・5歳児健診に関して、なるべく統一されたものにな

るよう情報共有などを行いました。

次に小児科を取り巻く環境です。少子化がますます進行し、子どもたちにとってプラスの面はあまりないように思われます。また、経済的な格差が進行し、小児を取り巻く環境にも影響し、さらに固定化され社会問題となっています。一方、我々小児科医の外来診療も、ワクチン接種の導入による感染症の減少が従来の診療内容を変化させ、アレルギー疾患、不登校、発達障害、心の問題、小児在宅医療などに代わってきています。小児科を開業していただく先生も少なく、小児科医会の開業会員の高齢化が進行し、今後地域の小児乳幼児健診体制、学校医の確保、時間外休日夜間の救急体制を維持していくことも不安視されています。

今後これらの諸問題に対応すべく、大学・各医療圏の機関病院の先生を含めてご意見を聞きながら役員会で協議し、「子どもたちが安心して暮らしていける宮崎県」をスローガンに、宮崎県小児科医会の会務を進めてまいりたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

宮崎県小児科医会
宮崎の子ども達の健康と健やかな成長を守るために活動しています

日本のひなた宮崎県

救急案内
県内の急病センター
事故やケガの告知品

国・学校の先生方へ
発熱（出欠）証明
迅速検査について

食物アレルギー
生活管理指導表
除去解除申請書

病児・病後児
保育
県内の病児・病後児保育
出席停止期間

福祉情報
利用できる福祉制度
県内の患者会協会

宮崎県小児科医会
会員名簿
会員小児科マップ

よくある質問
よくある悩みや
子育てアドバイス

九州医師会連合会第424回常任委員会

と き 令和7年8月23日(土)

ところ ホテルオークラ福岡（福岡市）

1 開 会

2 九州医師会連合会会長挨拶（福岡県蓮澤会長）

挨拶に引き続き、議案説明のため熊本県水足秀一郎委員、福岡県辻裕二委員・桑野恭行委員の3名に同席いただくことの確認が行われた。

3 報 告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎ（8月5日(火)熊本市）について（福岡）

監査会に引き続き、熊本県および福岡県の関係役職員が出席し、公印・帳簿・繰越金などを無事福岡県に引き継いだ旨の報告が行われた。

2) 各地区代表者懇談会（8月7日(木)日本医師会館）について（福岡）

全国8ブロックの代表者が集まり、令和7年の公益法人制度改革にともなう外部役員選出の協議が行われ、新たな申し合わせ事項として、令和8年度は、北海道ブロックが外部理事、A地区（北海道、東北、東京、関東甲信越ブロック）が外部監事を選出することが承認された。

3) その他

8月8日以降の大雨への対応について

医療機関の被災状況を把握後、次の常任委員会で検討することとなった。

4 協 議

1) 九州医師会連合会第129回定例委員総会における議案について（福岡）

第1号議案 令和6年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

熊本県から、歳入合計140,302,688円（前年度繰越91,166,542円含む）、歳出合計43,834,373円、差引96,468,315円を福岡県に繰越す旨の説明が行われ、原案どおり承認された。

第2号議案 令和7年度九州医師会連合会事業計画に関する件

福岡県から、定例諸会議および支援すべき事項などに関する事業計画の説明が行われ、原案どおり承認された。

第3号議案 令和7年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

福岡県から、前年度同額の会員一人年額2,000円（減免を除き23,889名）とすることが提案され、原案どおり承認された。

第4号議案 令和7年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

福岡県から、物価高騰などによる事務委託費および会議費増を見込んだ歳入歳出合計145,747,315円からなる予算の説明が行われ、原案どおり承認された。

第5号議案 令和7年度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

福岡県から、慣例で隣県の佐賀県美川優

子委員，大分県石和俊委員を監事に推薦することが提案され，原案どおり承認された。

第6号議案 令和7年度第125回九州医師会医学会事業計画に関する件

福岡県から，11月28日(金)に前日諸会議，29日(土)に役員合同協議会と総会・医学会，30日(日)に6つの分科会と8つの記念行事を計画している旨の説明が行われ，原案どおり承認された。

第7号議案 令和7年度第125回九州医師会医学会会費賦課に関する件

福岡県から，前年度同額の会員一人年額2,000円（減免を除き23,889名）とする旨の説明が行われ，原案どおり承認された。

第8号議案 九州医師会連合会会則の一部改正に関する件

福岡県から，「欠員時の役員選出」や「委員総会の報告事項」に関する会則の改正案の説明が行われ，原案どおり承認された。

以上，第1号議案から8号議案は，次の定例委員総会に上程することが重ねて承認された。

2) 次回第126回（令和8年度）九州医師会医学会開催担当県の決定並びに次々回第127回（令和9年度）同学会開催担当県の内定について（福岡）

九医連（九州医学会）医学会施行細則などをふまえ，次回担当県を鹿児島県に決定，次々回担当県を佐賀県に内定することが承認された。

3) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における九州ブロックからの候補者推薦について（福岡）

副会長候補者に，熊本県福田会長，理事候補者に福岡県蓮澤会長を推薦することを承認し，次の定例委員総会に提案すること

となった。

4) 九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会（令和8年1月17日(土)福岡市）について（福岡）

例年開催している研修会などで，福岡県医師会館で開催することが承認された。

5) 九州学校検診協議会への補助金について（福岡）

物価高騰などもふまえ，九医連からの補助金を100万円から150万円に増額することが承認された。

6) 医師会立看護学校の存続に向けた支援について（長崎）

佐賀県のNPO法人の設立によるふるさと納税の活用や，福岡県のICTを活用した授業の共有化（遠隔授業）の取り組みなどが報告され，意見交換を行った。

5 その他

第24回IPPNW（核戦争防止国際医師会議）世界大会（10月2日(木)長崎市）開会式への参加について（長崎）

6 閉 会

出席者－河野会長，竹崎事務局長

第129回九州医師会連合会定例委員総会

と き 令和7年8月23日(土)

ところ ホテルオークラ福岡（福岡市）

1 開 会

2 挨 拶

1) 前九州医師会連合会長

熊本県医師会長 福田 稠

2) 九州医師会連合会長

福岡県医師会長 蓮澤 浩明

3 来賓祝辞

1) 日本医師会長 松本 吉郎

2) 日本医師会常任理事 今村 英仁

3) 日本医師会常任理事 濱口 欣也

来賓紹介

1) 参議院議員 釜 范 敏

2) 日本医師会名誉会長 横倉 義武

3) 参議院議員 自見はなこ

4 座長選出

5 報 告

1) 第424回常任委員会について

蓮澤会長から、第1号議案から第8号議案までを本定例委員総会に提案することおよび令和8年度九州医師会医学会の開催が鹿児島県に決定、令和9年度が佐賀県に内定したこと、また、九州学校検診協議会への補助金について、昨今の物価高騰などにより現行の100万円から150万円に増額したことが報告された。

2) 令和6年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

昨年担当県である熊本県の水足委員から、資料にもとづき報告があった。



6 議 事

第1号議案 令和6年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

昨年担当県である熊本県の水足委員から、資料にもとづき説明の後、監事である福岡県の瀬戸委員から監査報告があり、原案どおり承認された。

第2号議案 令和7年度九州医師会連合会事業計画に関する件

福岡県の桑野委員から、資料にそって説明があり原案どおり承認された。

第3号議案 令和7年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

第4号議案 令和7年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

第3号および第4号議案は関連議案として、福岡県の辻委員から、資料にもとづき一括して説明があり、原案どおり承認された。

第5号議案 令和7度九州医師会連合会監事（2名）の選定に関する件

蓮澤会長が、慣例により、担当県の隣県である佐賀県、大分県から選出することを提案し承認され、事前に推薦された佐賀県の美川優子委員、大分県の石和俊委員が選定された。

第6号議案 令和7年度第125回九州医師会医学会事業計画に関する件

福岡県の桑野委員から、資料にもとづき説明があり、原案どおり承認された。

第7号議案 令和7年度第125回九州医師会医学会会費賦課に関する件

福岡県の辻委員から、資料にもとづき説明があり、昨年同様の会員一人当たり年額2,000円で、卒後5年間会員（研修医含む）は、減免により無料とすることが承認された。

第8号議案 九州医師会連合会会則の一部改正に関する件

福岡県の桑野委員から、資料にもとづき説明があり、原案どおり承認された。

7 協 議**1) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における九州ブロックからの候補者推薦について**

蓮澤会長より、日本医師会釜谷副会長の辞任により行われる補欠選挙において、九州ブロックから日本医師会副会長候補者に熊本県医師会福田会長を、日本医師会理事候補者に福岡県医師会蓮澤会長を推薦する旨、説明があり、満場一致で承認された。

出席者－河野会長、小牧・金丸副会長、

荒木・吉田常任理事、中村代議員会議長
竹崎事務局長、松本・牧野課長、
大橋主事

お知らせ**地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について**

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

第26回宮崎県医師会医家芸術展

第26回医家芸術展が、8月12～17日の6日間、県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。天候にも恵まれ、多くの方々にご来場いただき、にぎわいを見せました。

会場には、自然の風景や草花、動物たちの姿を描いた絵画や写真、心象風景や抽象的な表現を用いた作品、旅の記憶や日常のひとコマを切り取った作品など、ジャンルも表現方法も多彩な作品が展示されました。

出展された作品からは、それぞれの作者の視点や表現が感じられ、多くの来場者の関心を引いていました。

出展された作品の一部につきましては、作者の許可を得まして、日州医事の表紙を飾る予定となっておりますので、楽しみにお待ちください。

最後に、ご出展いただいた会員およびご家族の皆様、そして世話人の押川紘一郎先生、山内励先生、松本健吾先生の多大なご尽力に感謝申し上げます。

出展者数、出展数および、開催期間中の来場者数は下表のとおりです

	出展者数	出展数
書 道	5 名	13 点
絵 画	15 名	54 点
写 真	13 名	53 点
計	33 名	120 点

	来場者数
8月12日(火)	198 名
8月13日(水)	194 名
8月14日(木)	303 名
8月15日(金)	228 名
8月16日(土)	427 名
8月17日(日)	216 名
計	1,566 名



日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員の皆様へ

日医ペイハラ・ ネット相談窓口 を開設しました!

ご相談は
こちらから!



日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口

昨今、インターネット上(Google Map等の口コミやSNS等)で悪質な書き込み被害が増加しており、対応に苦慮している先生方や医療機関も多くあることと存じます。2024年10月に会員向けに実施したアンケート調査では、総回答数4,730のうち、Google Mapやその他の医療機関検索サイト、SNS等でご自身の医療機関に対する誹謗中傷等の書き込みをされた医療機関が約8割という結果でした。このような状況を踏まえ、SNS等の誹謗中傷に関する書き込みをはじめ、医療機関内でのペイシェントハラスメント全般に関する相談窓口を創設いたしました。

相談料無料・
回数制限なし

このような場合にご相談いただけます!



事例1

医療上の指示・指導などの受け入れを拒否され、怒鳴られるなど暴言を受けた。



事例2

インターネットやSNSで誹謗中傷・脅迫をされた。

お気軽にご相談ください!

制度対象者

日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員

相談内容

インターネット上での悪質な書き込みを含むペイシェントハラスメント全般

相談受付方法

WEBフォーム・電話

- ご相談に際しては会員確認をさせていただきます。会員本人以外からのご相談の場合(会員が開設・管理している医療機関の医療従事者等の場合)は、勤務先の医療機関の開設者または管理者が会員であることを事前にご確認いただくようお願いいたします。
- 無料で回数制限等なくご相談いただけます。

WEB
フォーム

<https://forms.gle/GgKkT837gCyfiVgL6>

※受付の当日または翌営業日以降に相談窓口より電話またはメールにてご連絡いたします。
お問い合わせの対応状況により、数日お時間を頂戴する可能性があります。



電話

0120-830-870

電話受付時間:平日9時~18時

※ネット上の誹謗中傷等の書き込みの場合は、該当箇所を確認するため、WEBフォームにて関連のURL等をご記載ください。

— このご案内は概要の説明となります。詳しい内容については下記をご確認ください。 —

〈日医ペイハラ・ネット相談窓口の詳細について〉

日本医師会ホームページおよびメンバーズルーム
をご覧ください。

https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota_etc/011988.html



〈日医ペイハラ・ネット相談窓口全般に関するお問い合わせ先〉

日本医師会情報システム課

TEL: 03-3942-6135

FAX: 03-3946-6295

MAIL: jossys@po.med.or.jp

日医インターネットニュースから

■現場を守る補正予算・本予算の編成を — 自民・カトレア会が要望 —

医療系の国家資格を持つ自民党議員と関係団体で組織する「カトレア会」は8月29日、医療・介護・福祉の現場を守る補正予算・本予算の編成を求める緊急要望を、自民党の森山裕幹事長に提出した。物価・賃金上昇に、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定が追いついておらず、提供体制の維持や薬の安定供給が危機的状況にあると指摘し、対応を求めた。

著しく逼迫している経営状況に対応するとともに、人材確保が困難になっている現場では、DXによる省力化や効率的な業務分担を進め、1人当たりが担うケアの質と量を拡大する必要があると指摘した。従事者の賃上げなど処遇改善を図るには、2025年度中の財政支援が必要だとし、補正予算を編成して各報酬の期中改定、もしくはそれに相当する補助を早急に実施するよう求めた。

今後の各報酬については、物価上昇に加え、25年春季労使交渉の平均賃上げ率（5.26%）や、最低賃金の全国平均引き上げ率（6.0%）などを参考に、賃金上昇に対応できる規模を確保するよう求めた。さらに、物価・賃金の上昇に応じて毎年度、適切に報酬をスライドさせる仕組みの導入も求めた。

併せて、「医療の高度化」に適切に対応するよう要望した。「骨太の方針2025」に「経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算する」と記載されたことを受け、財政フレームの見直しは一応の前進が見られたと評価したが、「医療の高度化分は加算の対象に明示されていない」と指摘した。

薬価については、中間年改定での機械的な引き下げを含め、改定の在り方を見直すよう提言した。

小児・周産期医療にも言及し、著しい人口減少で対象者が激減していることを踏まえ、政策医療として体制を維持する仕組みを検討するよ

う求めた。

こうした要望内容については、医師の自見英子参院議員を中心として4月に行われた「医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会」の決議にも盛り込まれていた。決議は国会議員308人の署名とともに石破茂首相に提出している。

今回の要望提出には日医の松本吉郎会長や病院団体の代表者、日本歯科医師会の高橋英登会長、日本薬剤師連盟の荻野構一副会長、日本看護協会の秋山智弥会長らが同席した。

●会長に医師の古川氏

同日に開いた総会では、会長に医師の古川俊治参院議員が就任した。会長を務めていた歯科医師の関口昌一参院議員は顧問に就いた。副会長は看護師の石田昌宏参院議員、薬剤師の本田顕子参院議員、医師の安藤高夫衆院議員。事務局長は医師の釜范敏参院議員が務める。

（令和7年9月2日）

■緊急避妊薬のスイッチ了承 — 薬剤師研修や面前服用条件に —

厚生労働省は8月29日、薬事審議会要指導・一般用医薬品部会を開き、あすか製薬の緊急避妊薬「ノルレボ」（有効成分名＝レボノルゲストレル）の製造販売承認と要指導医薬品への指定を了承した。2017年にスイッチ化の検討が始まって以降、約8年を経ての実現。厚労省は薬局・薬店での販売に当たり、販売する薬剤師への研修や、対面販売・面前服用を義務付ける。一方、使用年齢に制限は設けず、保護者の同意も不要とする。

承認条件として「承認後、少なくとも3年間の安全性などに関する製造販売後調査の実施」と、「必要な条件を満たした薬局または店舗販売業の店舗で、緊急避妊薬の取り扱いにかかる研修を修了した薬剤師によってのみ販売または授与されるよう、必要な措置を講じること」の2点を定めた。

これを受け、緊急避妊薬を販売する薬局・薬

店には▽研修修了薬剤師による販売▽プライバシーへの十分な配慮などに対応できる体制の整備▽近隣の産婦人科医などとの連携体制の構築一の3要件を満たすことを求める。製造販売業者に対しても、これらの要件を全て満たす薬局であることを確認した上で同剤を卸すよう求める。

面前服用を含む販売方法の在り方については、一定期間後、厚労省において見直しの議論を行う方針。

緊急避妊薬を巡っては、16年に厚労省の「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」にスイッチ化の要望書が提出された。17年7月から評価検討会議で検討が始まったが、悪用・乱用の懸念や販売する薬剤師への教育、使用者のリテラシーが不十分などとの指摘から、同年11月に「時期尚早」としてスイッチ化は見送られた。

その後、21年5月に市民団体から再検討の要望を受け、同年6月から評価検討会議で議論が再開。23年11月からは日本薬剤師会が業務委託先となり、薬局での緊急避妊薬の試験販売事業が行われている。

●初の「特定要指導薬」にも指定

この日の部会は、改正医薬品医療機器等法で新設される、薬剤師が対面でのみ販売できる「特定要指導医薬品」への指定も併せて了承された。特定要指導薬に関する改正法は来年5月の施行だが、施行前でも指定は可能となっている。

(令和7年9月5日)

■経営危機、「新構想の実現に不安」 — 医療部会で黒瀬委員 —

2026年度診療報酬改定の基本方針策定へ議論を始めた9月4日の社会保障審議会・医療部

会では、黒瀬巖委員（日医常任理事）が医療機関の苦境を訴えた。「経営が瀕死の状態に陥っていると言っても過言ではなく、これでは新たな地域医療構想が実現できるのか不安が拭えない」と述べた。

黒瀬委員は、厚生労働省が8月27日の中医協総会に示した、23年度の医療法人経営情報データベースシステム（MCDB）の数値に言及した。23年度の医科診療所の医業利益率が平均6.9%と示されたことに触れ「比較的経営が安定していると言われる診療所だが、全国各地の医療現場から全く異なった、むしろ厳しい経営環境に苦しんでいるとの悲鳴が届いている」と話した。

その上で、日医総研による診療所の経営に関する調査について説明。中間報告では、24年度に入り診療所の収支状況は悪化の一途をたどっているとし、「注目すべきは、所在地にかかわらず利益率が悪化している状況が見られる点だ。大都市に所在する診療所でも利益率が低下している。都市の規模にかかわらず、診療所の経営環境も病院経営と同様に極めて厳しい環境にある」と指摘した。

この危機的状況を打破するためには「初再診療料、入院基本料などの基本診療料の大幅な引き上げが鍵になる。加算ではなく、基本診療料を引き上げることで経営の選択肢を多く得られることを意識すべき。全国の医療機関が適切に経営判断できるような診療報酬改定にすることが必要」と強調した。黒瀬委員は、同日の会合を最後に医療部会の委員を退任する。

(令和7年9月9日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID：会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合からのお知らせ

宮崎県医師会グループ保険（団体定期保険）から
全国型グループ保険制度（日本医師休業共済会）への移行について

宮崎県医師会には、会員福祉事業の一環としてグループ保険（団体定期保険）制度が設けられております。

長年にわたり多くの会員の先生方にご加入いただいていたところですが、保険加入条件の制限等により、近年は加入者の減少が続き、同グループ保険制度を維持することが困難な状況になっておりました。

このような状況をふまえ、現在のグループ保険に加入されている先生方につきましては、同意を得たうえで、新たに健康状態の告知を行うことなく全国型グループ保険制度（日本医師休業共済会）へ移行して継続できることになりました（第8回県医師会全理事協議会、第5回県医師協同組合理事会において承認可決）。

つきましては、制度移行に関する確認文書を、当該先生方へお送りしておりますのでご確認ください。

本件に関するお問い合わせなどにつきましては、宮崎県医師協同組合（TEL 0985-23-9100）までご連絡をお願いいたします。

現行制度

宮崎県医師会グループ保険

→

新制度

全国型グループ保険

一般社団法人 日本医師休業共済会
「プラスグループ生命共済制度」

移行年月日 令和8年1月1日

お知らせ

日本医師会作成 院内掲示用ポスターについて

日本医師会では、2025年度に以下4点のポスターを作成しております。無料でダウンロードが可能ですので、下記URLまたは二次元コードよりダウンロードのうえ、待合室に掲示いただくなど、ご活用をお願いいたします。

<https://www.med.or.jp/people/opinion/000002.html>



OTC類似薬を保険適用外にすることの問題点を指摘したポスター 2点



カスハラへの注意喚起を目的としたポスター 2点



宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

**令和7年8月5日(火) 第4回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 8/28(木)医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業説明会の開催について**

日本医師会が医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業を行うための説明会で、荒木常任理事が出席することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について**①県高齢者サービス総合調整推進会議認知症施策部会委員の推薦について**

→高齢者サービスの調整と総合的推進を図るための部会について、委員の推薦依頼があり、吉見常任理事を推薦することが承認された。

3. 業務委託について**①令和7年度ロコモ予防運動推進事業の委託契約について**

→「健康寿命社会」の実現のため、県民に対しロコモティブシンドロームに関する知識や予防のための運動の普及等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について**①9/6(土)(小林市)医師事務作業補助者協会宮崎地方会の後援について**

→医師事務作業補助者のスキルアップのために「明日からの実務に活かす!～スキルアップとキャリア支援～」をテーマに開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

②12/20(土)(福岡)第12回全国医師会事務局連絡会研修会への後援並びに貴会管下医師会への案内について

→医師会の職員等を対象に「つながりから紡ぐ、新時代の災害対策&DX」をテーマに開催する研修会で、名義後援を行い、各郡市医師会にも周知することが承認された。また、職員の派遣については、会長と事務局長に一任することとなった。

(報告事項)**1. 週間報告について****2. 7月末日現在の会員数について****3. 8/4(月)(県立看護大学)県地方独立行政法人評価委員会について****4. 8/4(月)損保ジャパンとの懇談会について****5. 8/2(土)組織強化・将来構想委員会小委員会について****令和7年8月19日(火) 第9回全理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について****①宮崎地方労働審議会委員(第13期)の就任承諾について**

→労働関係法令の施行や公共職業安定所の業務に関する重要事項を調査・協議する審議会で、任期満了に伴い、新た

に池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 10/7(火) (アートホテル) 宮崎大学と宮崎県医師会との懇談会の開催について

宮崎大学との連携強化のため意見交換をする懇談会で、開催すること及び対象者を大学側が学長、理事、副学長、医学部長、病院長、医学部教授（医師）、医師会側が郡市会長、専門分科医会長、代議員、顧問、役員とし案内することが承認された。

3. 9/25(木)ひなたシンポジウム2025における「セキュリティインシデント対応研修会」の開催について

サイバーセキュリティ意識の醸成、対策の向上、産学官連携の強化等を目的とした研修会を県警察本部との共催で開催することが承認された。

4. 「Safe Crew Project」のご紹介とご協力をお願いについて

ドクターヘリに搭乗する医療クルー（医師・看護師）が、洋上不時着対応訓練等を行うための寄附依頼について、現時点では寄附を見送り、日本医師会から依頼があった場合は再度検討することとなった。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 8/6(水) (中央保健所) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議について

3. 8/7(木) (県庁) 県総合計画審議会について

4. 8/14(木)・19(火) (宮大医学部) 医局員に対する医師会活動説明会について

5. 8/12(火) (県医) 臨床研究倫理審査委員会について

6. 7/31(木) (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

7. 8/8(金) (県医) 県有床診療所協議会総会・講演会について

8. 8/12(火)～17(日) (県立美術館) 第26回宮崎県医師会医家芸術展について

9. 8/1(金) (県医) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議打合せ会について

10. 8/7(木) (県医) 勤務医部会総会・前期講演会について

11. 7/30(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

令和7年8月26日(火) 第10回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 会費減免申請について

研修医2年次の日医・県医会費減免1名、卒後5年の日医・県医会費減免62名の申請が承認された。

2. 業務委託について

①令和7年度高次脳機能障がい講演会業務の委託契約について

→高次脳機能障がいに関する診断技術の向上を目的に講演会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①11/20(木) (宮観ホテル) 過労死等防止対策推進シンポジウムの後援名義使用承認申請について

→過労死の防止を目的に開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

4. 令和7年度公衆衛生事業功労者表彰（厚生労働大臣表彰）候補者の推薦について

健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で、3名を推薦することが承認された。

5. 10/21(火) (日医) 令和7年度第1回都道府県医師会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。
また、今回のテーマである「有料職業紹介医事業について」に関し、本会からの質問を検討し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

6. 10/28(火) (県医) 各都市医師会長協議会の開催について

開催することが承認された。議題については、10月21日(火)に日医で開催される都道府県医師会長会議の報告等のほか、各都市医師会にも照会する。また、役員から議題があれば事務局に提出することとなった。

7. 第125回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」について

九医連担当の福岡県医師会より、11月29日(土)に開催される総会で採択する宣言と決議の案に対する意見等の照会があり、意見等がある場合は今週中に事務局を通して会長に申し出ることとした。

8. 11/29(土) (福岡) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項等について

協議会で取り上げてほしい日医への質問・要望事項があれば、事務局を経由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

9. 9/18(木) (県防災庁舎) 九州厚生局と宮崎県による集团的個別指導の実施に係る立会いについて

52医療機関を対象に行われる集团的個別指導で、市来常任理事を立会人として派遣することが承認された。

10. 10/25(土) (西都市) 宮崎県高等学校総合体育大会 男子第78回・女子第40回宮崎県高等学校駅伝競走大会開催に伴う医師および看護師の派遣について

開催地である西都市西児湯医師会に人選を依頼することが承認された。

11. 9・10月の行事予定について
(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8/20(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

3. 8/23(土) (福岡) 九医連常任委員会について

4. 8/24(日) 全国有床診療所協議会理事会について

5. 8/23(土) (福岡) 九医連定例委員総会について

6. 8/25(月) (県防災庁舎) 県国民健康保険運営協議会について

7. 8/22(金) (県医) 広報委員会について

8. 8/26(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

9. 8/21(木) (高千穂町) 社会保険医療担当者の新規個別指導について

10. 8/24(日) 中四九地区医師会看護学校協議会について

11. 8/20(水)・22(金)・26(火) (宮大医学部) 医局員に対する医師会活動説明会について

12. 8/21(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

13. 8/22(金) (県医) 広報委員会学生委員との組織強化に関する意見交換会

14. 8/23(土) (県医) 産業医研修会について

15. 8/20(水) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

16. 8/20(水) (県医) 在宅医療協議会総会・研修会について

- | | |
|--|--|
| 17. 8/24(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について | 医師連盟関係
(報告事項) |
| 18. 8/25(月) 日医救急災害医療対策委員会地域包括ケアシステムにおける救急医療ワーキンググループについて | 1. 8/19(火) (日医) 日医連執行委員会について
2. 8/23(土) (福岡) 九州医連連絡会執行委員会について |
| 19. 8/25(月) (県医) 男女共同参画委員会について | |

お知らせ

令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生採用のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。
貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。
なお、採用に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 8名(男0人, 女8人)

【就職希望地】 宮崎市内5名, 都城1名,
日向・延岡1名, 西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子
キャリア教育センター センター長 河野 豪

県 医 の 動 き

(9月)

1	医学会誌編集委員会 (Web会議) (小牧副会長他)
2	第5回常任理事協議会 (会長他)
3	(日医) 日医地域医療対策委員会 (金丸副会長) 県産婦人科医会献金委員会 (Web会議)
4	医局員に対する医師会活動説明会 (放射線医学) (大塚常任理事) 宮崎大学医学部医の倫理委員会 (上山理事) 性と生殖に関する調査検討会 (Web会議) (嶋本常任理事)
5	医局員に対する医師会活動説明会 (小児科学) (大塚常任理事) 「地域医療構想の取組の推進に向けた調査」にか かる説明会 (Web会議) (金丸副会長) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ 研修会 (Web会議) (吉見常任理事)
6	(佐賀) 九州地区医師国保組合連合会理事会・ 全体協議会 (佐々木理事) 県医師会医学会 (Web会議) (会長他) (福岡) 九州医師協同組合連合会理事会 (金丸副会長)
8	県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会 (Web会議) 広報委員会勉強会 (荒木常任理事他)
9	医局員に対する医師会活動説明会 (血液・糖尿 病・内分泌内科学) (吉見常任理事) 組織強化・将来構想委員会小委員会 (Web会議) (小牧副会長他)
10	医局員に対する医師会活動説明会 (脳神経外科学) (吉見常任理事) 日医学校保健委員会 (Web会議) (高木常任理事) 県内科医会医療保険委員会 (Web会議) (玉置常任理事)
11	県産婦人科医会常任理事会 (嶋本常任理事他) 三師会懇談会 (河野委員長他)
12	医局員に対する医師会活動説明会 (肝胆脾外科 学, 心臓血管外科学) (赤須常任理事)
13	(沖縄) 日医女性医師支援・ドクターバンク連 携九州ブロック会議 (会長他) 産業医研修会 (実地) (河原理事) (長崎) 全国国保組合協会九州支部総会 (小牧副会長)
16	第11回全理事協議会 (Web会議) (会長他) 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講 習会打合せ会

17	医局員に対する医師会活動説明会 (循環器・腎 臓内科学) (吉村理事) 日医公衆衛生委員会 (Web会議) (峰松理事) 支払基金審査運営協議会 (会長)
18	(日医) 日医有床診療所委員会 (会長) 社会保険医療担当者の集团的個別指導 (市来常任理事) (高鍋町) 西都児湯地域医療構想調整会議 (金丸副会長他)
19	未来の医療を語るオールみやざき交流会 (会長他) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会実行委 員会 (Web会議) (上山理事)
20	保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わ せ会 (荒木常任理事他) 産業医研修会 (前期) (河原理事) 県産婦人科医会秋期定時総会・学術講演会 (Web会議)
24	全国国保組合協会理事長・役員研修会 (Web会議) (秦理事長) 労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議) 広報委員会 (荒木常任理事他)
25	県国保等はり, きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会 (大塚常任理事) 日医医業経営検討委員会 (Web会議) (吉田常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) セキュリティインシデント対応研修会 (Web会議) (嶋本常任理事)
26	医局員に対する医師会活動説明会 (麻酔生体管 理学) (落合常任理事) 県内科医会理事会 (Web会議) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
27	(福岡) 九医連勤務医連絡協議会 (会長他) (福岡) 九医連常任委員会 (会長) (福岡) 九医連連絡協議会 (会長他)
29	園医部会総会・研修会 (Web会議) (会長他) 県内科医会会誌編集委員会
30	医師協理事会 (河野理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 第12回全理事協議会 (会長他)

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和 7 年 9 月 1 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 12人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整 形 外 科	3	3	0
精 神 科	1	0	1
消 化 器 内 科	2	0	2
放 射 線 科	1	0	1
総 合 診 療 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 107人

	合 計
令和7年度(4/1～9/1)	3
平成16年度から累計	107

3. 求人登録 101件 278人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	88	67	21
外 科	19	17	2
整 形 外 科	18	15	3
精 神 科	12	11	1
脳 神 経 外 科	2	2	0
循 環 器 科	14	11	3
消 化 器 内 科	19	15	4
麻 酔 科	5	5	0
眼 科	10	6	4
放 射 線 科	9	9	0
小 児 科	3	2	1
呼 吸 器 科	0	0	0
在 宅 診 療	4	3	1
総合診療科・内科	11	8	3
脳 神 経 内 科	2	2	0
呼 吸 器 内 科	10	8	2
リハビリテーション科	4	2	2
救 命 救 急 科	7	5	2

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
消 化 器 外 科	4	2	2
乳 腺 外 科	2	2	0
健 診	2	2	0
泌 尿 器 科	4	3	1
産 婦 人 科	0	0	0
検 診	0	0	0
皮 膚 科	0	0	0
婦 人 科	0	0	0
呼 吸 器 外 科	0	0	0
人 工 透 析	12	8	4
リウマチ科	0	0	0
臨床病理科	0	0	0
形 成 外 科	0	0	0
診療科目不問	9	4	5
緩和ケア	0	0	0
内分泌糖尿病内科	3	3	0
その他	5	3	2
合 計	278	215	63

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230240	医)順養会 海老原病院	国富町	内	1	常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和7年9月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり (16台)
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり (15台)
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり (6台) 別途, 賃貸の駐車場 (22台)
2. 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階 (グループホームやすらぎ)
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 (旧) のぞみ医院跡 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台)
	③ 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり (20台)

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し, 求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は, 月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は, 所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は, 「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年9月26日

10			月		
1	水		17	金	
2	木	14:00 日医SNSの活用に関する勉強会 (Web会議) 14:00 社会保険医療担当者の新規個別指導 16:30 県立病院事業評価委員会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議)	18	土	9:00 保健医療福祉調整本部図上訓練 (愛知) 全国医師会医療秘書 学院連絡協議会定例総会等 16:30 (福岡) 九医協連通常総会
3	金	10:00 (国富町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 14:30 (新富町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 18:00 地域医療現場における働きやすい 環境を考える会	19	日	13:30 県小児科医会秋季学術講演会
4	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 13:30 日医臨時代議員会 (Web会議)	20	月	12:30 医局員に対する医師会活動 説明会 (精神医学) 19:00 広報委員会
5	日	8:30 ALS研修会	21	火	15:00 (日医) 都道府県医師会会長会議 19:00 組織強化・将来構想委員会 小委員会 (Web会議) 19:00 県プライマリ・ケア研究会 学術広報委員会
6	月	16:00 医局員に対する医師会活動説明会 (産婦人科学) 19:00 三師会 県立学校医等の報酬基準 額に関する打合せ会	22	水	
7	火	18:30 第13回全理事協議会 19:00 宮崎大学と県医師会との懇談会	23	木	13:00 産業保健活動推進全国会議 (Web会議) 14:30 県国保等はり、きゅう及び あん摩マッサージ療養費 審査委員会 18:50 医療現場のワークライフバ ランスセミナー (Web会議)
8	水	14:00 (日医) 都道府県医師会組織強化 担当役職員連絡協議会 15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会	24	金	14:30 日医救急災害医療対策委員 会地域包括ケアシステム における救急医療ワーキ ンググループ (Web会議)
9	木	18:00 県保健医療福祉調整本部図上訓練 事前説明会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会常任理事会 19:00 在宅医療研修企画画小委員会 (Web会議)	25	土	14:00 県警察医会協議会 15:00 県警察医会総会・特別講演会 19:00 宮崎江南病院創立70周年記念式典
10	金	15:00 県と市町村との妊婦健診等に関す る協議会 (Web会議) 18:45 スポーツドクター連盟総会 19:00 健康スポーツ医学セミナー (Web会議)	26	日	9:00 人体シミュレータを用いた 小児在宅医療実技講習会 10:00 (日医) 日医社会保険指導者講習会 11:00 全国有床診療所協議会理事会 ・常任執行委員会 (Web会議)
11	土	12:30 (福井) 全国医師国保組合連合会 代表者会・全体協議会 17:00 県医師協同組合創立40周年記念行事	27	月	15:00 宮大医学部附属病院専門研修プロ グラム連絡協議会
12	日	13:30 宮崎から医師をめざそう！応援フォーラム	28	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:00 医師協理理事会 18:30 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第14回全理事協議会 (会長他) 19:00 各郡市医師会長協議会
13	月	(スポーツの日) 10:00 (日医) 診療所を対象とした新興 感染症対策リーダー研修	29	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会 15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 15:30 県健康づくり推進協議会 18:00 医師クランク育成・スキルアップ 研修会 (Web会議)
14	火	13:30 県障害者施策推進協議会 19:00 第6回常任理事協議会 (Web会議)	30	木	18:30 県麻しん風しん対策会議・予防接 種広域化検討会議・HPVワクチ ン接種情報共有会 (Web会議)
15	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会	31	金	13:00 医療保険請求事務実技試験
16	木	13:00 社会保険医療担当者の個別指導 14:00 (日医) 日医広報委員会 17:00 県訪問看護ステーション連絡協議 会役員と各支部との意見交換会 19:00 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症 重症化予防研修会 (Web会議)			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年9月26日

11 月			
1	土	(日医) 日医設立記念医学大会	17 月
2	日	11:00 糖尿病予防フェスタ 11:30 (東京) 全医協連通常総会	18 火
3	月	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会	19 水
4	火	19:00 第7回常任理事協議会	20 木
5	水		
6	木	19:00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会	
7	金		
8	土	県整形外科医会研修会 (岩手) 全国医師会勤務医部会連絡協議会	21 金
9	日	10:00 (岩手) 勤務医交流会 13:30 県民健康セミナー	22 土
10	月	19:00 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医療事故調査支援委員会合同会議	23 日
11	火	18:30 第15回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	24 月
12	水	13:00 日医救急災害医療対策委員会(Web会議)	25 火
		14:00 日本スポーツ振興センター災害共済給付事業運営協議会	26 水
		16:00 支払基金審査運営協議会	
		19:00 広報委員会 19:00 九州各県医師会学校保健担当理事者会(Web会議)	27 木
13	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会	28 金
14	金	13:30 みやざき愛の献血運動推進県民大会 19:00 県外科医会秋期講演会(Web会議)	29 土
15	土	15:00 九州学校検診協議会専門委員会(Web会議)	30 日
16	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

国保審査

社保審査

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県内科医会学 術講演会 (Web講習会) 10月1日(水) 19:00～20:00 KITENビル8階 コンベンション ホール中会議室 ※受講は現地また はWeb	プライマリケア医のための間質性肺疾患の画像診断の ポイント 宮崎東病院 呼吸器内科 部長 松元 信弘	12 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※日本ベーリンガー インゲルハイム(株) ☎080-2183-9282
	プライマリケア医のための間質性肺疾患の早期紹介の ポイント 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院准教授 柳 重久	45 (0.5)	
令和7年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大 腸がん検診研修会) (Web講習会・TV 会議) 10月2日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館ま たはZoomウェビ ナー及びTV会議 8会場 (都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那 珂, 西諸, 西臼杵)	肺がん検診 宮崎大学医学部附属病院 放射線科 講師 中田 博	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	乳がん検診について 宮崎江南病院 院長 白尾 一定	11 (0.5) (乳)	
	胃がん検診と胃炎・胃がんの内視鏡診断 潤和会記念病院 消化器科 部長 宮崎 貴浩	12 (0.5) (胃)	
	大腸がん検診，総論，検体の処理，精度管理の実際 古賀総合病院 消化器内科 部長 田井 博	82 (0.5) (大腸)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度依存症 地域対策支援事業 依存症支援者研修 会 10月4日(土) 13:00～17:00 延岡市社会教育セ ンター1階会議室	やめさせたら依存症は治るのか？ ～相手をわかろうとすること～ 国立病院機構さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之 ----- 問題解決しない事例検討会の理念 全国の活動と宮崎県の取り組み 問題解決しない事例検討会 国立病院機構さいがた医療センター 院長 佐久間 寛之	5 (1.0) 5 (3.0)	◇主催 宮崎県障がい福祉 課(吉田病院受託) (連絡先) 吉田病院 ☎0982-37-0126
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 10月6日(月) 19:00～20:00 MSD製薬宮崎営 業所 ※受講はWebのみ	肺炎球菌ワクチンに関する最新情報 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	8 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 MSD(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
延岡内科医会学術 講演会 (Web講習会) ～宮崎県北部にお ける多職種連携セ ミナー～ ～延岡地区からC 型肝炎ゼロを目指 して～ 10月6日(水) 19:00～20:00 延岡コワーキング スペース	肝炎治療の最新の話～ウイルス性肝炎を中心に～ 宮崎大学医学部内科学講座 消化器内科学分野 准教授 永田 賢治	73 (0.5)	◇主催 延岡内科医会 ◇共催 アッヴィ(同) ◇後援 延岡医学会 延岡市西臼杵郡薬剤師会 宮崎県看護師会 延岡市 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第254回宮崎県泌 尿器科医会 10月9日(木) 19:00～20:00 アートホテル宮崎 3階「向日葵」	前立腺癌治療、最近の知見 鹿児島市立病院 泌尿器科 部長 五反田丈徳	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 アステラス製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第2回宮崎免疫栄養と腸内細菌の会 (Web講習会) 10月10日(金) 18:30～19:30 宮崎大学医学部臨床講義室105 ※受講は現地またはWeb	健康の土台をつくる腸内細菌の科学 京都府立医科大学 医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授 内藤 裕二	54 (0.5)	◇主催 第2回宮崎免疫栄養と腸内細菌の会 ◇共催 ※ミヤリサン製薬(株) ☎099-813-0720
令和7年度宮崎県医師会健康スポーツ医学セミナー (Web講習会) 10月10日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	SAGA2024国民スポーツ大会を振り返って 枝國医院 理事長 佐賀県医師会 専務理事 枝國 源一郎	1 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	----- 運営側から見たSAGA2024国スポ・全障スポの救護体制について 佐賀県杵藤土木事務所 用地課 主査 中村 友久 日医認定健康スポーツ医学再研修会：2単位	10 (1.0)	
第58回児湯内科医会学術講演会 10月10日(金) 19:00～20:00 児湯医師会館	腎臓専門医からみたARNI 大隈鹿屋病院 副院長 田村 幸大	82 (1.0)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
宮崎県医師会産業医研修会 10月15日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	上司が知っておくべき部下を輝かせるコミュニケーション力 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎CKD連携セミナー (Web講習会) 10月16日(木) 19:00～20:15 KITENビル ※受講は現地またはWeb	CKDはLTEP(Long term eGFR plot)で診る時代 ～フォシーガ適応症例早期発見の重要性～ 市立大津市民病院 内科部長 (腎臓内科部門) 血液浄化部 診療部長 中澤 純	19 (1.0)	◇主催 宮崎県透析医会 ◇共催 アストラゼネカ㈱ 小野薬品工業㈱ ◇後援 宮崎県薬剤師会 宮崎県医師会 (連絡先) 小野薬品工業㈱九州 沖縄支店宮崎営業所 ☎080-2472-0479
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 10月16日(木) 19:00～20:00 ホテルベルフォート 日向2階「シンフォニー」	SURIのもたらす高尿酸血症治療の新時代 横田内科 院長 横田 直人	73 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会内科医会 持田製薬㈱
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 10月17日(金) 19:00～20:10 キャトルセゾンマツイ ※受講は現地またはWeb	当院における心臓リハビリテーションに関して 延岡共立病院 理学療法士 黒木 奨貴 ----- 心不全の包括的治療：薬物療法と心臓リハビリテーション 久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門 主任教授 福本 義弘	44 (0.5) ----- 10 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ㈱アステム 日本ベーリンガー インゲルハイム㈱ (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第73回宮崎県スポーツ学会 10月18日(土) 15:00～18:30 宮崎県医師会館 参加費:1,000円	ハイパフォーマンススポーツセンター栄養グループの取り組み 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部門 副主任研究員 元永 恵子	21 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	野球の投球動作におけるバイオメカニクスの評価とトレーニング 帝京大学スポーツ医科学センター 講師 大川 靖晃	61 (1.0)	
	アスリートをどう支えるか？予防・PRP・現場連携の実際と課題 順天堂大学 整形外科 准教授 運動器再生医学講座 特任教授 齋田 良知	10 (1.0)	
第12回地域連携で心不全を考える会(Web講習会) 10月21日(火) 18:30～19:30 宮崎市郡医師会病院大会議室2 ※受講はWebのみ	心不全多職種介入の実践 兵庫県立尼崎総合医療センター 副院長・循環器内科科長 佐藤 幸人	12 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 10月22日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	自殺対策について 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎県産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎市郡医師会しのめ医学会特別講演会 (Web講習会) 10月22日(水) 19:00～20:10 宮崎市郡医師会館 ※受講は現地またはWeb	コロナの振り返りとそれを踏まえた国・県の取組について 宮崎県福祉保健部 薬務感染症対策課 感染症調整担当副主幹 野間 康嗣 他	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業医研修会 10月23日(木) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	行動科学の産業保健への応用 産業保健相談員 宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授 黒田 嘉紀 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎県産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
医療現場のワークライフバランスセミナー (Web講習会) 10月23日(木) 18:50～20:15 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	人生の終わりに「ありがとう！幸せでした！」と想い合える生き方を探して ～5人の子供と男性育休～ 地方(福島)移住で得た宝もの 大原総合病院（福島県）脳神経外科 部長 福島県立医科大学 脳神経外科 客員講師 岩楯 兼尚 生涯研修の専門研修会：1単位	1 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働きやすい環境を考える会
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 10月23日(木) 19:00～20:00 西諸医師会館会議室 ※受講は現地またはWeb	腰痛関連疾患と神経障害性疼痛 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科学分野 教授 亀井 直輔	60 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度延岡医 学会総会 10月25日(土) 16:15～18:20 エンシティホテル 延岡3階 雅B	骨粗鬆症の疫学：新しい検診実施にむけて 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター ロコモ予防学講座 特任教授 吉村 典子	11 (1.0)	◇主催 延岡医学会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	ガイドラインからみた骨粗鬆症治療 東京大学医学系研究科外科学専攻 感覚運動機能医学講座整形外科学 教授 田中 栄	77 (1.0)	
高齢者のプライマ リ・ケアForum in 宮崎 10月29日(水) 18:50～20:10 宮崎観光ホテル東 館2階「初雁の間」	超高齢化社会における過活動膀胱の薬物療法 ～β3作動薬によるパラダイムシフト～ 村岡泌尿器科内科 院長 村岡 敬介	65 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※杏林製薬(株) ☎0985-27-3301
	高齢者肺炎の診療～押さえておくべきポイント～ 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授 宮崎 泰可	8 (0.5)	
令和7年度医療機 関向け感染症対策 研修会 10月30日(木) 14:00～16:00 けいめい記念病院	麻疹の基礎知識と初期対応について(仮) 宮崎県立宮崎病院 内科部長 感染管理科医長 山中 篤志	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県中央保健所 ☎0985-28-2111
	机上訓練「麻疹の初動対応～もし外来に麻疹疑い患者 が受診したら～」 宮崎県立宮崎病院 内科部長 感染管理科医長 山中 篤志 他	8 (1.0)	
令和7年度臨床倫 理・研究倫理講習会 10月30日(木) 17:00～18:30 宮崎大学医学部講 義実習棟303教室	臨床研究法と倫理指針の改正について 東京科学大学 生命倫理・臨床研究戦略推進室長 厚生労働省医政局研究開発政策課 臨床研究等技術参与 八百野 恭子 専門医共通講習—医療倫理(必修):1単位	3 (1.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1864

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 10月30日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	CKD診療ガイド2024の改定ポイントについて 県立日南病院 内科主任部長 兼 臨床工学科 主任部長 松本 充峰	73 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 日本ベーリンガー インゲルハイム(株)
第211回宮崎県眼科 医会講習会 11月1日(土) 16:00～19:00 宮崎大学錦本町 ひなたキャンパス わくわくセンター 参加費:3,000円	OCTを活用したより良い網膜診療 愛知医科大学病院眼科 講師 坪井 孝太郎 ----- ぶどう膜炎の診断,治療について 大分大学医学部眼科学講座 教授 武田 篤信	36 (1.0) ----- 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 中外製薬(株)
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 11月7日(金) 19:00～20:00 マリエールオークパイ ン延岡「フェリーチェ」 ※受講は現地また はWeb	肝炎治療の最前線(仮) 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター センター長 永田 賢治	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎大学医学部附属 病院肝疾患センター ギリアド・サイエ ンズ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
皮膚の日講演会 (Web講習会) 11月9日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地また はWeb	食物繊維と腸内細菌 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・ 日本臨床皮膚科医会 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 日本医師会 NHK 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月12日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務 的研修 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の現地研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度宮崎県 外科医会秋期講演 会（日本臨床外科 学会地方会） （Web講習会） 11月14日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	2040年sustainableな消化器外科診療を目指して 新小山市民病院 理事長・病院長 佐田 尚宏	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100
宮崎県医師会産業 医研修会 11月19日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月20日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	身近なものから始める化学物質管理 産業保健相談員 なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長 中甫木 直樹 生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月26日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務 的研修 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の現地研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第16回はまゆう整形外科セミナー 11月29日(土) 17:00～18:00 宮崎観光ホテル東館2階「日向の間」 参加費:1,000円	骨粗鬆症がなければHip fracture(HF)はない？ HFについて語るときに僕の語ること 小牧病院 院長 小牧 亘	77 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
	変形性股関節症～知識のアップデート～ 小牧病院 坂本 武郎	61 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 12月10日(水) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度宮崎県緩和ケア研修会 12月13日(土) 8:30～17:10 県立日南病院2階講堂	e-learningの復習・質問 県立日南病院 副院長 市成 秀樹	15 (0.5)	◇主催 ※宮崎県立日南病院 ☎0987-58-2152
	全人的苦痛に対する緩和ケア【グループ演習/ワークショップ】(アイスブレイキング含む) 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 外来医長 山賀 昌治	10 (1.5)	
	コミュニケーション【ロールプレイング/ワークショップ】 宮崎大学医学部附属病院 精神科 副科長 船橋 英樹	4 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携【グループ演習/ワークショップ】 県立日南病院 副院長 木佐貫 篤	12 (1.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 12月17日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会:2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第91回宮崎整形外科懇話会 12月20日(土) 17:30～18:30 宮崎県医師会館 参加費:1,000円	骨軟部腫瘍の診断と治療 ～基本から最新トピックスまで～ 福島県立医科大学 整形外科学講座 主任教授 松本 嘉寛	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 旭化成ファーマ(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	c, e	e	a	c	d	d	e	b	a

診療メモ



アルドステロン産生病変の可視化

にしもと 西 本 絃嗣郎
にしもと泌尿器科・内科・人工透析内科

はじめに

本稿では、私が20年来取り組んできた研究テーマの一つである原発性アルドステロン症（primary aldosteronism：PA）について、特にその病変の可視化に焦点を当てて解説いたします。

アルドステロンの生理学

副腎は皮質（外側）と髄質（内側）から構成され、皮質はさらに球状層（最外層）、束状層（中間層）、網状層（最内層）に分かれます。球状層からはアルドステロン、束状層からはコルチゾールが産生されます。両者は分子式こそ類似しますが、生理作用は大きく異なります。

アルドステロンは体内の塩分・水分保持に関与し、生物が海中から陸上へ進化する過程で重要な役割を果たしたと考えられています。体内環境を「内なる海」として維持する働きを持つと捉えると理解しやすいでしょう。

アルドステロンとコルチゾールはいずれもコレステロールから合成されますが、最終段階にはそれぞれアルドステロン合成酵素（CYP11B2）、コルチゾール合成酵素（CYP11B1）が働きます。両者はアミノ酸配列の93%が同一でありながら、球状層にはCYP11B2、束状層にはCYP11B1が排他的に発現することで異なるス

テロイドが産生されます。

アルドステロン産生細胞を顕微鏡で可視化するには、アルドステロンそのものかCYP11B2を検出する必要があります。しかし、アルドステロンは脂溶性であることから組織切片作成過程で失われやすく、免疫組織化学法によるCYP11B2の検出も、CYP11B2とCYP11B1を識別できる良質な抗体がなく困難でした。

PAとは

アルドステロンが過剰に分泌されると高血圧を引き起こします。以前はまれな疾患とされていましたが、現在は診断法の確立により高血圧患者の5－10%を占めることが分かってきました。したがって高血圧患者を単純に降圧薬で治療する前に、PAの除外が重要です。

PAは主に、

- アルドステロン産生腺腫（APA）：副腎の良性腫瘍からの過剰分泌（手術可能）
- 特発性アルドステロン症（IHA）：腫瘍はなく、両側副腎からの過剰分泌（薬物治療）に分類されます。

CYP11B2の免疫組織化学染色法の確立

2003年に自衛隊を退職後、慶應義塾大学泌

尿器科に入局し、副腎研究を開始しました。研究は、末松誠教授（後のAMED初代理事長）率いる医化学教室で行いました。同教室は、1989年にラット、1991年にヒトCYP11B2をアルドステロン合成酵素と証明したことで知られています。

私は当時フリーザーに保管されていた抗体を再利用し、CYP11B2とCYP11B1を識別して検出できる免疫組織化学法を確立しました。これにより、アルドステロン産生腺腫の病理学的診断が可能となり、さらに正常副腎内に1 mm未満のアルドステロン産生細胞の小集簇を検出しました。私たちはこれを「アルドステロン産生細胞クラスター（APCC）」と命名し、2010年に報告しました。この研究で博士号を取得するとともに、日本泌尿器科学会賞、慶應三四会賞を受賞し、この報告論文は現在までに361報の論文に引用されています。

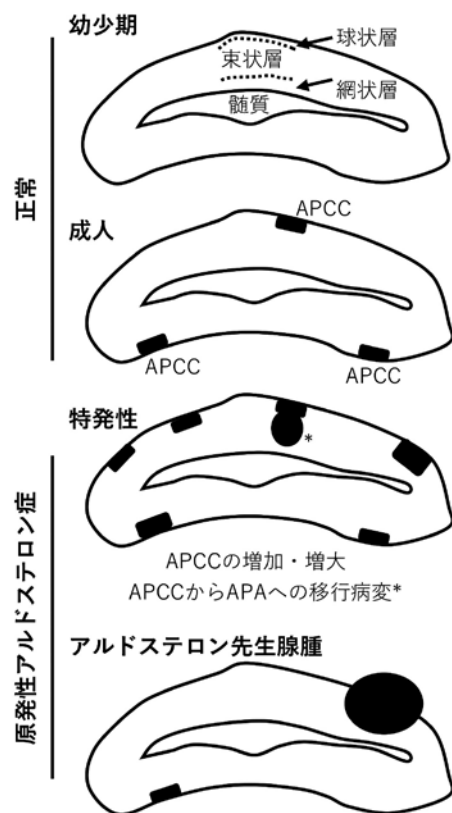
その後の研究成果

留学中には、APCCがAPAと同様の遺伝子変異を持つことを報告し（PNAS 2015, 338件引用）、小さいながらも病変であることを明らかにしました。その後も、

- 加齢によるAPCCの増加・増大（Int J Endocrinol 2016）
 - APCCからAPAへの移行病変の存在（JCEM 2016）
 - 質量分析顕微鏡によるAPCCでのアルドステロン検出（Hypertension 2018）
 - 特発性アルドステロン症の原因病変がAPCCや移行病変であること（Endocr Res 2020）
 - APCCのシングルセル解析（JCEM 2022）
- などを報告し、APCCの臨床的意義を広く示してきました。

おわりに

私の研究成果から、アルドステロンはAPCCを通じて多くの高血圧患者に関与することが明らかになりました。現在も慶應義塾大学や埼玉医科大学との共同研究を継続していますが、将来的には「特発性」アルドステロン症の病態が分子生物学的に明らかとなって、薬物療法により根治できる日が来るのかもしれない。



宮大医学部学生のページ



学生生活のご紹介

宮崎大学医学部 医学科3年 ^{たけ もり} 竹 森 さくら

今年度の学生会長を務めております、宮崎大学医学科3年の竹森さくらと申します。昨年度に続きまして、今年度もありがたいことに機会をいただき、宮崎大学医学部学生会の活動について執筆することになりました。今年度の学生会は医学科・看護科合わせて7名の新入生が加わり、総勢30名で活動しております。一部ではございますが、学生の代表として日々邁進している学生会活動についてご紹介させていただきたいと思います。

まずは学生会全体、ひいては学生全体に関わる行事である学生大会についてご報告いたします。学生大会は毎年6月ごろに行われており、今年度は6月10日に実施いたしました。約100名の学生が参加し、学生会および専門委員会の活動報告、決算・予算の承認などを行いました。学生大会は、学生自治の実態について知っていただく機会として欠かせないものとなっています。オンラインで事前に学生から意見・要望を募ったり、その場で会場からの発議を募ったりすることで、学生の意向を自治に反映することも重要な目的の1つです。学生大会終了後にはGoogle formによるアンケートを実施しており、例年多くのご意見・ご感想をいただいております。

これらを活用しながら、今後もよりよい学生自治を進めていければと思います。



学生大会の様子

また今年は「宮崎大学医学部のキャンパスライフ紹介とメッセージ」と題して学生会長、副会長、書記による発表をさせていただきました。医学科を目指す中高生と保護者の方々、計383名に向けてキャンパスライフや受験勉強、大学での学びや部活動、プライベートなどについて多くのことをお話ししました。中高生の生き生きとした雰囲気に触れ、初心を思い出し、今後の勉学に向けた活力を得ることができました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症に

より、規模を縮小しての開催となっていたオープンキャンパスですが、今年からは先生方や職員の方のご尽力もあり、コロナ以前の企画が多く復活し、たくさんの方にご来場いただきました。学生会役員も本学の学生と協力しながら運営をお手伝いさせていただきました。貴重な機会をいただきましたこと、この場をお借りして感謝いたします。

加えて、例年と異なり今年度は日本医学教育評価機構様による宮崎大学医学部の実地調査や視察調査が行われました。学生会は実地調査に参加させていただき、評価機構の皆様と宮崎大学の教育についてお話しさせていただきました。学生会の活動についてもご紹介し、医療人育成課と話し合っテテスト日程を調整することや、学生の意見をもとにカリキュラムが変わったことなど、これまで日州医事で紹介させていただいた実績も報告いたしました。次に九山・西医体、音楽祭などの課外活動について紹介させていただきます。今年も九州・山口医科学生

体育大会（九山）および西日本医科学生総合体育大会（西医体）が開催されました。コロナ以前の活気をすっかり取り戻し、多くの学生が春期休暇や夏期休暇を存分に用いて部活動に勤んでいました。どの部活動も素晴らしい成績を残しており、九山優勝や全医体への進出を決めた部活動もあります。今後も部活動やサークル活動に熱中できるよう、学生会がサポートしていけたらと思います。

また6月21日には文化系部活動・サークルの実力を発揮する場である医学部音楽祭が開催されました。第22回となる今年度は清武文化会館の工事により、初の宮崎市民文化ホールでの開催となり、盛況のうちに終わることができました。例年より大規模なステージでのびのびと音を奏でることができ、各部活動・サークルの練習の成果を大いに発揮することができました。

最後になりますが、日頃より我々学生および学生会にご理解とご協力を賜りありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



私が所属している管打楽器部の音楽祭での様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
9月2日	・令和7年度宮崎県保健指導実施者経験者研修会の開催について（通知） ・令和7年度医療機関における外国人患者受入れに係る実態調査実施について（協力依頼） ・医薬品安全管理責任者が行う従業者に対する医薬品の安全使用のための研修について（協力依頼） ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について ・保険医療機関等において本人確認を実施する場合の方法について（再周知） ・美容医療に関する取扱いについて ・令和7年度における年金生活者支援給付金の支給に関する対応について ・総務省消防庁・厚生労働省「救急の日」ポスターについて ・労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律について ・労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律について ・「言語聴覚士法第三十三条第二号の規定に基づき厚生労働大臣の指定する科目等の一部を改正する告示を改正する件」の告示について（通知） ・令和7年台風第12号に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年台風第12号に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和7年台風第12号による災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和7年台風第12号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年台風第12号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和7年台風第12号に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について
9月5日	・医師会共同利用施設の設立状況等（2025年4月1日現在）調査結果の掲載について ・厚生労働省による地域医療構想の取組の推進に向けた調査に係る記載要領等について ・診断基準等のアップデートにより支給認定範囲が狭まる可能性のある指定難病について ・40歳未満の事業主健診情報等のNDBへの収載について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・電波環境協議会による「医用テレメータの電波管理実践ガイド」（令和7年6月）について（通知） ・令和7年度全国学校保健・安全研究大会に係る開催要項の修正について ・令和7年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（群馬大会）の開催について（送付） ・2025年度アレルギー相談員養成研修会の実施について ・厚生労働省令和7年度介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式「デジタル中核人材養成研修」の周知及び受講勧奨のお願い（情報提供） ・ドブテレット錠20mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について

送付日	文 書 名
9月5日	・ドナネマブ（遺伝子組換え）製剤の医薬品医療機器法上の用法及び用量の一部変更について ・アトモキセチン製剤の安定供給について ・令和7年9月2日からの大雨に係る災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年9月2日からの大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和7年9月2日からの大雨に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和7年台風第12号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年9月2日からの大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について
9月9日	・後期高齢者医療制度の窓口負担割合の見直しに伴う配慮措置の終了について ・患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について ・医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について ・美容医療に関する取扱いについて ・医療用物資の配布について（周知依頼） ・令和7年度厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」における「在宅医療提供機関におけるBCP（事業継続計画）策定支援研修」の実施について（再周知） ・「令和8年度病床機能等分化・連携促進基盤整備事業」等に係る事業実施意向調査について ・「使用上の注意」の改訂について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・「2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について」及び「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針の一部改正について」の周知について ・令和7年9月2日からの大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和7年9月2日からの大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年9月2日からの大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年台風第15号に伴う災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年台風第15号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和7年台風第15号等に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について
9月12日	・かかりつけ医機能報告に係る医師の研修について ・佐賀県医師会産業医研修会（基礎の後期研修、生涯の更新・専門研修）の開催について（ご案内） ・「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」について（追加情報） ・2025年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について ・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項の送付について ・「職場の健康診断実施強化月間」の実施に関する協力依頼について

送付日	文 書 名
9月12日	・高齢者施設等が定める協力医療機関の要件に係る取扱いについて（「令和6年度介護報酬改定に関するQ&A（Vol.16）（令和7年9月5日）」の送付について） ・令和7年台風15号等に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和7年台風第15号等に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年台風第15号等に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和7年台風第15号等に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（対象地域追加） ・令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化終了について（早期終了）
9月16日	・地域医療構想の取り組みの推進にむけた調査について（実施期間の延長） ・令和7年9月12日からの大雨に係る災害の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和7年9月12日からの大雨に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和7年9月12日からの大雨に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について
9月19日	・「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」に係る日本医師会ホームページへの掲載について ・子ども救急医療電話相談（#8000）の体制拡充について（通知） ・疑義解釈資料の送付について（その29） ・要指導医薬品から一般用医薬品に移行する医薬品等について（通知） ・第56回全国学校保健・学校医大会の事前参加登録について（ご依頼） ・令和7年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」における「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」の実施について ・「第1回エコチル調査全国フォーラム」のご案内 ・「令和7年度環境省石綿読影の精度に係る調査読影講習会」のご案内 ・「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第21次報告）」の公表について ・「適切なケアマネジメント手法の策定、普及推進に向けた調査研究事業（令和6年度老人保健健康増進等事業）」の「手引き」等の公開のご連絡について（情報提供） ・要指導医薬品の製造販売後調査等の実施方法に関するガイドラインに関する質疑応答集（Q&A）について ・電波環境協議会による「医用テレメータの電波管理実践ガイド」（令和7年6月）について ・「要指導医薬品の製造販売後調査等の実施方法に関するガイドラインについて」の一部改正について ・「厚生労働省所管一般会計補助金等に係る財産処分について」の一部改正について ・令和7年9月2日からの大雨に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（対象地域追加）

送付日	文 書 名
9月19日	・令和7年9月12日からの大雨に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和7年9月12日からの大雨に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・令和7年9月12日からの大雨に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和7年9月12日からの大雨に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について
9月22日	・医療機関等におけるスマートフォンでのマイナ保険証の利用開始について（周知） ・医療機関等におけるスマートフォンでのマイナ保険証の利用開始に伴う、Amazonビジネスアカウントの作成時の招待コードについて（周知） ・医療機関等の窓口におけるスマートフォンでのマイナ保険証への対応に関する疑義解釈資料の送付について ・物資の流通の効率化に関する法律の来年度施行に係る政省令の公布について（周知依頼） ・医薬品副作用被害救済制度等の周知・広報について（協力依頼） ・高齢者施設等が定める協力医療機関の要件に係る取扱いについて ・令和7年度全国学校保健・安全研究大会の開催に係る参加申込期間の延長について
9月26日	・緊急避妊薬を調剤・販売する薬剤師及び販売する薬局・店舗販売業の店舗について（通知） ・日本医師会女性医師支援センターおよび女性医師バンクの名称変更のお知らせ ・国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について（情報提供） ・季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの供給等について ・実施期間の再度の延長について（病床の削減等をご検討されている病院及び有床診療所に対する周知及び回答のお願い：地域医療構想の取り組みの推進にむけた調査） ・「令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和7年度調査）への協力依頼について」の送付について ・薬剤耐性（AMR）対策に関する教育啓発事業へのご協力について ・令和7年度在宅医療・介護連携推進支援事業「都道府県・市町村担当者等研修会議」の開催について（周知依頼） ・令和7年度臓器移植普及推進月間及び臓器移植推進国民大会の実施について ・医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について（地域医療支援病院による業務報告の方法に関する改正） ・令和7年9月2日からの大雨に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化終了について（早期終了）
9月30日	・最低賃金の引上げに関連した支援の拡充について（周知依頼） ・令和7年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について ・感染症法に基づく医師の届出に対する周知について（協力依頼） ・「令和7年度ACCe-learning（後期日程）」受講案内について ・令和7年度厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第2回）のご案内について ・「医療介護提供体制改革推進交付金，地域医療対策支援臨時特例交付金及び地域介護対策支援臨時特例交付金の運営について」の一部改正について（令和7年度「地域医療介護総合確保基金管理運営要領」の一部改正）

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



どもたちだけでなく、もう何年も顔を合わせていなかった親戚たち（多くは岩手県に在住）にも会うことになり、お互い年月を重ねてすっかり老いてしまいましたが、父の思い出を語り合いました。告別式が済むと出棺しその後は火葬場で茶毘に付されましたが、火葬が済んで骨を拾う際に、改めて故人の在りし日の姿が脳裏によぎりました。学生時代の解剖の実習で骨やご遺体とは対面していますが、肉親のものとなるとやはり「死」というものを強く意識させられました。実際親族の中には火葬後の遺骨を見て眼にハンカチを当てて涙している人もいました。この他今年は大学の同級生も1名あの世に旅立ってしまいました。

私たち医師は亡くなるまで患者さんを診ますが、亡くなって病院からお見送りをした後のことは意外と何もわかっていませんでした。今回肉親の死に直面し、普段業務で接している死とはかなり異質な体験となりました。これまで意識していなかった自分の死についても考える機会となりました。他人に勧めるだけでなく、自分自身の「終活」についても少しずつ準備をしようと思いをいたす今日このごろです。（高橋）

* * *

8/10南野陽子コンサートに行ってきました。浪人以来ですので36年ぶりです。自分がどうなるか楽しみでした。あのころのはいからさんが通るの動画で始まり。あの衣装で登場です。大号泣でした。妻に背中をさすってもらいながら、この涙は何？と自問しました。未来がわからない浪人の自分に、36年後なりたかった医師になり、力一杯生きてるよと報告しているようでした。一つひとつ積み重ねて今がある。未来も納得できるものにしたいです。（石田）

* * *

少し前は値段が高いからとフルーツを敬遠しがちでしたが、いろいろなものが値上がりして差が目立たなくなったせいか、最近はフルーツを買う機会が増えています。先日、お手頃なシャインマスカットを買った際、ネットで見た炭酸水漬けを真似してみました。炭酸水に1日漬けるだけですが、シャインマスカットの甘さに炭酸がアクセントになって爽やかな食感になり美味しかったです。（横山）

* * *

9月初旬、台風に追われるように箱根を旅しました。芦ノ湖から富士山を仰ぐことも、温泉巡りも叶いませんでしたが、美術館のおかげで旅は充実しました。なかでも彫刻の森美術館は印象的。霧に包まれた広大な敷地に巨大彫刻が並び、やがて晴れ間がのぞく中で一つひとつを眺めました。ナルシスを題材にした「嘆きの天使」やゴームリーの「密着Ⅲ」など、（作者の意図は置いといて）ユーモラスな彫刻たちに親しみを感じました。旅でも日常でも、予定通りにいかないことは多いですが、そこで楽しむためには“事前に楽しみを用意しておく”ことが大切だとあらためて思いました。（永野）

以前、このあとがきの場でも記しましたが、今年は実父と義母の2人の肉親を亡くしました。亡くなってから通夜、告別式、そして四十九日と日を追って儀式を済ませました。県外で生活をしていた3人の我が子もそれぞれ通夜・葬儀に参列し一家5人が久し振りに一堂に会し、お互いの近況報告をしました。実父の通夜・葬儀では子

先日、無事にOSCEとCBTが終わりました。4年生になってからの数か月間、毎月のように試験があったので、部活やバイトに明け暮れ、趣味のための遠征に動しみながらも、ずっと勉強しなければという焦りに駆られている感覚でした。4年目にして遅すぎるタイミングで、これが医学部に通うということなんだなあという自覚がやっと実感を持って湧いてきています。きっとこれからも勉強の日々は続くのだと思いますが、もう少し普段からコツコツと積み上げられる人を目指したいなと思うばかりです。（安丸）

* * *

先日鹿児島で鳥貴族に行ったのですが、会計時の安さに改めて感動しました。メガジョッキも嬉しく、どの料理も美味しいのに全品390円というのは学生の自分には魅力的です。自分は筋トレが好きなのですが、タンパク質多めなのもポイントが高いです。鹿児島には2店舗目ができたのに宮崎にはなく、とても悔しいです。出店されたら必ず通いたいので宮崎進出を願っています。（野間）

* * *

先日の新聞にビル・ゲイツ氏のことが書かれていた。途上国の子どもの命と教育のために財団の資金と私財を合わせて、日本の国家予算の4分の1近い巨額をポンと出す。人助けではあるが経済性も重視しているとのこと。しかし追求するのは個人益でなく地球益とのこと。引退後のスケールの大きさにもただただ驚かされる（日本では、違法性のあるサブリ疑いで会長職を辞するなど、なんとも情けない記事が世間を騒がしていた）。（高木）

今月のトピックス

会長のページ

15年後の日本，世界は予想ができますでしょうか。悪いイメージしかありません。我々がどげんかせねばならぬのですが。

3 ページ

メディアの目 地域ぐるみで支える

総合診療専門医からヤングケアラーの話題で，フードリボンプロジェクトやロングスプーン協会の解説です。根本的な解決は難しい問題かと思われませんが，支え合いが必要と思われます。

22ページ

診療メモ アルドステロン産生病変の可視化

西本紘嗣郎先生よりアルドステロン産生腫瘍の可視化についての解説です。アルドステロンが多く的高血圧患者に影響していることと薬物療法での根治への期待について教えていただきました。

70ページ

宮大医学部学生ページ 学生生活のご紹介

竹森さくらさんより学生生活の紹介です。医師会広報委員で活躍している学生諸君と同様に，色々な活動へ参加して見聞を広めていただくよう期待しております。

72ページ

(文責：菊池 英維)

日 州 医 事 第914号 (令和7年10月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子，下窪 徹，高橋 聡，
國枝 良行，永野 元章，高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈，宮本貴由樹，野間 貫太，安丸 佳苗

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗，高木 純一，佐々木 究，田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介，久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)